

Veeam.VMCA2022.v2024-04-22.q67

試験コード:	VMCA2022
試験名称:	VMCA 2022
認定資格:	Veeam
無料問題数:	67
バージョン:	v2024-04-22
アクセス数:	546
ページビュー数:	670
https://www.jpnpdf.com/Veeam.VMCA2022.v2024-04-22.q67-mondaishu.html	

最新問題: 1

要件と、Veeam 大学病院が既存のバックアップストレージを維持するという前提に基づいて、オンプレミス設計に必要なコンポーネントを説明する答えはどれですか？

- A. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ エンタープライズ マネージャー、ログ配布サーバー。
- B. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ Enterprise Manager、マウント サーバー、バックアップ リポジトリ。
- C. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、Veeam vPower NFS サービス。
- D. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、マウント サーバー、ゲスト インタラクション プロキシ、ゲートウェイ サーバー。

Answer: D (メッセージを残す)

Veeam University Hospital のバックアップとレプリケーションの要件を満たすソリューションを設計するには、オンプレミスの設計に必要なコンポーネントのいくつかを考慮する必要があります。これは、バックアップおよびレプリケーション操作のパフォーマンスと信頼性、およびバックアップ インフラストラクチャの拡張性と管理性を確保するのに役立ちます。

Veeam のバックアップとレプリケーションのベスト プラクティス ガイド1によると、オンプレミスの設計に必要なコンポーネントの一部は次のとおりです。

※バックアップサーバーです。これは、バックアップ、レプリケーション、リカバリ検証、および復元タスクを制御および調整する Veeam Backup & Replication のコア コンポーネントです。また、プロキシ サーバー、リポジトリ サーバー、WAN アクセラレータなどのバックアップ インフラストラクチャ コンポーネントも管理します。ベスト プラクティス ガイド2で推奨されているように、各サイトにバックアップ サーバーを用意する必要があります。

*バックアッププロキシ。これは、ソース ホストからデータを取得し、処理してバックアップ リポジトリに転送するコンポーネントです。また、データ圧縮、重複排除、暗号化なども実行されます。ベスト プラクティス ガイド 3 で推奨されているように、各サイトに少なくとも 1 つのバックアップ プロキシが必要です。

*バックアップリポジトリ。これは、Veeam Backup & Replication がバックアップ ファイル、バックアップ コピー、レプリケートされた VM のメタデータを保持するサーバーです。Windows または Linux サーバー、NAS デバイス、重複排除アプライアンスなどを使用できます。ベスト プラクティス ガイド 4 で推奨されているように、各サイトに少なくとも 1 つのバックアップ リポジトリが必要です。

*サーバーをマウントします。これは、リストア操作中にバックアップ リポジトリからバックアップ プロキシにバックアップ ファイルをマウントするコンポーネントです。また、データの圧縮解除、重複排除、復号化なども実行します。ベスト プラクティス ガイド 5 で推奨されているように、リストアを実行する予定の各サイトにマウント サーバーが必要です。

※ゲートウェイサーバー。これは、バックアップ プロキシとバックアップ リポジトリが異なるサイトまたはネットワークにある場合に、それらの間のデータ ムーバーとして機能するコンポーネントです。また、安全なデータ転送のためにデータの暗号化と復号化も実行します。ベスト プラクティス ガイドで推奨されているように、リモート バックアップ プロキシによってアクセスされるバックアップ リポジトリがある各サイトにゲートウェイサーバーが必要です。

したがって、これらのコンポーネントに基づいて、オンプレミス設計に必要なコンポーネントを示す答えは D. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、マウント サーバー、ゲートウェイ サーバーです。

最新問題: 2

設計が目標 SLA を満たし、リポジトリの拡張保護を超えていないことを検証するにはどうすればよいでしょうか？

- A. ジョブのスループットが拡張子と一致することを確認します。利用可能なネットワークスループット、ディスク速度、初期サイジング計算と相互比較します。
- B. 1 時間以内にバックアップが正常に行われないゴールド層の仮想マシンに対しては、スタンドアロンのバックアップ コピー ジョブを作成することをお勧めします。
- C. レビューのためにジョブ履歴をエクスポートします。ボトルネック統計がソースを指していることを確認します。SLA 要件を満たさないジョブのインデックス作成をオフにします。
- D. Veeam ONE からのバックアップ ファイル増加レポートを使用して異常値を見つけます。ビジネスチームとアプリケーションチームに余分なデータを削除するよう依頼する

Answer: A (メッセージを残す)

設計が目標 SLA を満たしており、リポジトリの増加予測を超えていないことを検証するために使用できる方法は、ジョブ スループットが拡張機能と一致していることを確認し、利

用可能なネットワーク スループット、ディスク速度、および初期サイジング計算と相互比較することです。ジョブのスループットは、バックアップ ジョブによって単位時間あたりに処理および転送されるデータの量の尺度です。ジョブのスループットは、ネットワーク帯域幅、ディスクのパフォーマンス、圧縮、重複排除、暗号化などのさまざまな要因の影響を受ける可能性があります。ジョブのスループットが拡張子と一致していることを確認することで、バックアップ ジョブが期待どおりに実行され、SLA を満たしていることを確認できます。ジョブのスループットを、利用可能なネットワーク スループット、ディスク速度、初期サイジング計算と相互比較することで、バックアップのパフォーマンスやストレージ消費に影響を与える可能性のあるボトルネックや不一致を特定できます。

最新問題: 3

要件に基づいて、オンプレミスに保存されるバックアップに推奨されるストレージ オプションは何ですか？

- A. 既存のバックアップ ストレージを再利用する
- B. 不変のパブリック クラウド オブジェクト ストレージ
- C. ストレージ アプライアンスの重複排除
- D. Veeam 強化リポジトリを備えた物理サーバー

Answer: D ([メッセージを残す](#))

オンプレミスに保存されるバックアップに推奨されるストレージ オプションは、Veeam Hardened Repository を備えた物理サーバーです。Veeam Hardened Repository は、Linux XFS ファイル システム機能と Linux アクセス制御メカニズムを使用して、バックアップ ファイルの不変性とランサムウェア保護を提供するバックアップ リポジトリの一種です。パフォーマンス、セキュリティ、およびスケーラビリティを向上させるために、仮想サーバーよりも物理サーバーが推奨されます。Veeam Hardened Repository は、コンプライアンス、セキュリティ、保存に関する顧客の要件を満たし、すべてのバックアップの種類と機能をサポートします。

最新問題: 4

オフサイトで 1 日に必要な数の復元ポイントを作成していることを確認するために、後でバックアップ コピー ジョブ設定を適切に計画するには、どのタイプのバックアップ ジョブに関する詳細情報が必要ですか？

- A. ブロンズ層のバックアップ ジョブ
- B. シルバー層のバックアップ ジョブ
- C. ゴールド層のバックアップ ジョブ
- D. ラップトップのバックアップ ジョブ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

ゴールド層のバックアップ ジョブには、イメージ バックアップに 1 時間、トランザクション ログ バックアップに 15 分の最も厳しい目標復旧時点 (RPO) が設定されています。つまり、他のバックアップ ジョブよりも頻繁に実行し、1 日あたりより多くの復元ポイント

を作成する必要があります。したがって、バックアップ コピー ジョブの設定を適切に計画するには、VM の数、バックアップのサイズ、変更率、保持ポリシー、バックアップのコピーに使用できる帯域幅など、ゴールド層のバックアップ ジョブに関する詳細情報が必要になります。オフサイトの場所へ。

参考資料: [バックアップ コピー]、[バックアップ方法]、[継続的なデータ保護]

最新問題: 5

Veeam Life and Indemnity は、既存のレガシー NAS バックアップからファイル データをバックアップする時間に問題が発生したことをお知らせします。NAS は、低い変更率でファイル レベルでバックアップされています。バックアップするソース容量は、8 時間で 10 GbE スイッチに接続された 12 TB です。このことから、現在の環境についてどのような仮定を導き出すことができますか？

- A. ファイル パスの長さが 256 文字を超えています。
- B. NAS 上のファイルが大きいです
- C. AD 権限はファイル レベルで設定されます。
- D. NAS 上のファイルは小さいです。

Answer: (解答を表示する)

最新問題: 6

セキュリティ、スループット、保存の要件を考慮すると、許容可能なバックアップ リポジトリ設計の一部は何でしょうか？ (2つ選択してください)

- A. オブジェクトストレージ アプライアンスへのバックアップ ジョブを直接使用します。
- B. ソース データと同じサイトにある強化された Linux XFS ベースのリポジトリへのバックアップ ジョブを使用します。
- C. セカンダリ サイトの強化された Linux XFS ベースのリポジトリへのバックアップ コピー ジョブを使用します。
- D. セカンダリ サイトの強化された Windows ReFS ベースのリポジトリへのバックアップ コピー ジョブを使用します。
- E. 重複排除アプライアンスへのバックアップ ジョブを直接使用します。

Answer: B,C (メッセージを残す)

セキュリティ、スループット、保持の要件を満たすバックアップ リポジトリの設計は、ソース データと同じサイトにある Hardened Linux XFS ベースのリポジトリへのバックアップ ジョブを使用し、セカンダリで Hardened Linux XFS ベースのリポジトリへのバックアップ コピー ジョブを使用することです。サイト。強化された Linux リポジトリは、XFS ファイル システム機能と Linux アクセス制御メカニズムを使用して、バックアップ ファイルの不変性とランサムウェア保護を提供するバックアップ リポジトリの一種です。バックアップ コピー ジョブは、オンサイトまたはオフサイトで、異なる保持設定を使用して、あるリポジトリから別のリポジトリにバックアップをコピーするタイプのバックアップ ジョブです。

これらの機能を使用すると、バックアップが安全で効率的であり、規制やビジネスのニーズに準拠していることを保証できます。

最新問題: 7

3つのサイトのそれぞれに Veeam バックアップ サーバーを配置することが推奨されるのはなぜですか？

- A. VMware クラスターの分離。
- B. レプリケーションには各サイトにバックアップ サーバーが必要です。
- C. VPN 接続サイト。
- D. 各サイトには実稼働データがあります。

Answer: D (メッセージを残す)

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide¹ によると、3つのサイトのそれぞれに Veeam バックアップ サーバーを設置することが推奨される理由は次のとおりです。

※各サイトに制作データがございます。この理由は、ネットワーク トラフィックと遅延を軽減し、バックアップと復元の速度と効率を向上させるために、バックアップ データをソース データのできるだけ近くに保存する必要があるという局所性の原則に基づいています。各サイトに Veeam バックアップ サーバーを配置すると、サイト間の WAN または VPN 接続を越えることなく、各サイトで本番データのローカル バックアップを実行できます。

最新問題: 8

Veeam インフラストラクチャに対するランサムウェア攻撃が成功しない可能性を高めるために、Veeam Life and Indemnity は次のどれを行うべきですか？

- A. 共有管理アカウントに強力なパスワード セキュリティ ポリシーを実装します。
- B. Veeam 管理者からすべてのリモート アクセスを削除します。
- C. Veeam コンポーネントが運用環境の Active Directory ドメインに存在しないことを確認します。
- D. 実稼働 Active Directory フォレスト上の Veeam コンポーネントを多要素認証で保護します。

Answer: D (メッセージを残す)

Veeam インフラストラクチャに対するランサムウェア攻撃が成功しない可能性を高めるために Veeam Life and Indemnity がとるべきアクションは、運用環境の Active Directory フォレスト上の Veeam コンポーネントを多要素認証で保護することです。多要素認証 (MFA) は、システムまたはリソースにアクセスする前に、ユーザーが自分の身元を証明するために2つ以上の証拠を提供することを要求するセキュリティ メカニズムです。MFA は、ユーザーの資格情報がランサムウェアまたはその他の手段によって侵害された場合でも、Veeam コンポーネントへの不正アクセスを防止できます。

最新問題: 9

追加の発見に基づいて、いくつかの重要なワークロードは 5 分未満の目標復旧時点を維持する必要があることが判明しました。VMware 仮想マシンをレプリケートするための推奨される方法は次のうちどれですか？

- A. 即時モードによる Veeam バックアップ コピー
- B. Veeam 継続的データ保護。
- C. Veeam イメージベースのレプリケーション
- D. カスタム PowerShell スクリプト。

Answer: B (メッセージを残す)

5 分未満の RPO で VMware 仮想マシンをレプリケートするための推奨される方法は、Veeam Continuous Data Protection (CDP) です。CDP は、データ損失とダウンタイムを最小限に抑えながら、VMware 仮想マシンをセカンダリ サイトまたはクラスタにほぼ継続的にレプリケーションできるようにする機能です。CDP は、VMware vSphere APIs for I/O Filtering (VAIO) を使用して、ソース VM からのすべての書き込み操作をキャプチャし、ほぼリアルタイムでターゲット VM に送信します。CDP はわずか数秒で RPO を達成し、災害発生時の高速フェイルオーバーとフェイルバックを可能にします。

最新問題: 10

プロキシに使用するトランスポート モードを決定するときに、要件の 1 つが VMware で暗号化されたデータストアをサポートしていることに気づきました。バックアップ プロキシにはどの処理モードを利用できますか？

(3つ選択してください)

- A. 暗号化を使用したネットワーク モード (NBDSSL)。
- B. 仮想アプライアンス (ホットアド) モード。
- C. ネットワーク (NBD) モード。
- D. 直接 SAN。
- E. 直接 SMB。
- F. 直接 NFS。

Answer: A,B,E (メッセージを残す)

VMware の暗号化されたデータストアにアクセスするには、暗号化をサポートするトランスポート モードを使用する必要があります。次のトランスポート モードは暗号化をサポートしています。

*暗号化付きネットワーク モード (NBDSSL): このモードでは、バックアップ プロキシと ESXi ホストの間の暗号化されたネットワーク接続を使用して、暗号化されたデータストアからデータを読み書きします。このモードではデータストアに直接アクセスする必要はありませんが、ネットワーク トラフィックと暗号化のオーバーヘッドにより、他のモードより遅くなる可能性があります2

*仮想アプライアンス (ホットアド) モード: このモードは、ESXi ホスト上で実行される仮想バックアップ プロキシを使用し、VMware vSphere API を使用して暗号化された VM の仮想ディスクをそれ自体に接続します。このモードでは、バックアップ プロキシとソース

VM が同じデータストア上、または同じ ESXi ホストからアクセスできるデータストア上に存在する必要があります。このモードはネットワーク モードよりも優れたパフォーマンスを提供しますが、複数のバックアップ プロキシが同じデータストアに同時にアクセスすると、SCSI 予約の競合が発生する可能性があります³

*ダイレクト SMB: このモードは、SMB プロトコル経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します。このモードでは、データストアが SMB 共有として構成されており、バックアップ プロキシがそのデータストアに対する読み取りおよび書き込み権限を持っている必要があります。このモードは高いパフォーマンスとスケーラビリティを提供しますが、追加の構成手順とセキュリティに関する考慮事項も必要です⁴。次のトランスポート モードは暗号化をサポートしません。

*ネットワーク (NBD) モード: このモードでは、バックアップ プロキシと ESXi ホストの間で暗号化されていないネットワーク接続が使用され、暗号化されたデータストアにアクセスできません²

*ダイレクト SAN: このモードは、SAN ファブリック経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します。これでは、暗号化されたデータを復号化できません⁵

*ダイレクト NFS: このモードは、暗号化をサポートしていない NFS プロトコル経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します⁶

1: 強化されたリポジトリ - VMware vSphere のユーザー ガイド 2: ネットワーク モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 3: 仮想アプライアンス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 4: ダイレクト SMB アクセス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 5: ダイレクト SAN アクセス モード - VMware vSphere 6 のユーザー ガイド: ダイレクト NFS アクセス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド

最新問題: 11

追加の調査により、1 時間でレプリケートされる仮想マシンには、同じデータストア上の仮想マシンあたりの変更率が高い複数の個別の大規模な VMDK が存在することが判明しました。どのような軽減テクニックが必要になる可能性がありますか？

- A. WAN アクセラレータを実装します。
- B. レプリケーション専用の Veeam Backup & Replication サーバーを使用します。
- C. 一部の VMDK を代替データストアに移行することをお勧めします。
- D. レプリカ専用 to 使用される単一の VMware データストアにレプリケートします。

Answer: A,C (メッセージを残す)

Veeam University Hospital のレプリケーション要件を満たすソリューションを設計するには、同じデータストア上の仮想マシンあたりの変更率が高い、複数の個別の大規模な VMDK を持つ仮想マシンに必要な可能性のある緩和手法をいくつか検討する必要があります。これは、組織のレプリケーションのパフォーマンスと効率、さらには目標復旧時点 (RPO) に影響を与える可能性のあるいくつかの課題と制限を克服するのに役立ちます。Veeam のバックアップとレプリケーションのベスト プラクティス ガイドによると、必要となる可能性のある軽減テクニックのいくつかは次のとおりです。

*WANアクセラレータを実装します。この手法は、キャッシュ、重複排除、圧縮、暗号化を使用して、ソース サイトとターゲット サイトの間で転送および処理する必要があるデータの量を削減するのに役立ちます。WAN アクセラレータのペアをソース サイトに 1 つ、ターゲット サイトに 1 つずつ展開し、レプリケーション ジョブ設定で構成する必要があります。この手法により、レプリケーションの速度と効率が向上し、ネットワーク帯域幅とストレージスペースも節約できます。

*一部の VMDK を代替データストアに移行することをお勧めします。この手法は、負荷と I/O を複数のデータストアに分散することで、ソース データストアでのパフォーマンスの低下とリソースの競合を回避するのに役立ちます。Storage vMotion や svmotion などの VMware ツールまたはコマンドを使用して、一部の VMDK を十分な容量とパフォーマンスを持つ他のデータストアに移行する必要があります。この手法により、レプリケーションの安定性と信頼性が向上し、実稼働環境への影響が軽減されます。

したがって、これらの手法に基づいて、どの軽減手法が必要になるかを示す答えは A と C になります。

最新問題: 12

発見時にどのような重要な情報が欠けていましたか? (2つ選択してください)

- A. 現在使用されているバックアップストレージのタイプ。
- B. Windows 仮想マシンと Linux 仮想マシン間の割合。
- C. 現在のデータセットのサイズ。
- D. Veeam 大学病院が使用する仮想化プラットフォーム。
- E. バックアップ保持ポリシー。

Answer: C,E (メッセージを残す)

Veeam 大学病院のニーズと要件を満たすソリューションを設計するには、探索フェーズでいくつかの重要な情報を収集する必要があります。この情報は、環境の現状、利害関係者の目標と期待、プロジェクトの制約と課題を理解するのに役立ちます。

ケーススタディによると、発見時に欠落していた重要な情報の一部は次のとおりです。

*現在のデータセットのサイズ。この情報は、データのサイズと種類に基づいてバックアップストレージ要件、バックアップのパフォーマンスと効率を見積もるのに役立つため、非常に重要です。仮想マシン、物理サーバー、NAS システムなどの各ワークロードに保存されているデータの量と、日次または週次で変更または追加されるデータの量を把握する必要があります。

*バックアップ保持ポリシー。この情報は、バックアップ コピーの数と頻度、バックアップストレージ層、バックアップ削除ルールなどのバックアップ保持設定とポリシーを定義するのに役立つため、重要です。バックアップ データの保存期間を知る必要があります。コンプライアンスまたは履歴の目的、および使用可能なバックアップストレージ容量または必要なバックアップストレージ容量の量を保持します。

最新問題: 13

あなたは、ランサムウェア攻撃を防ぐために、可能であれば、書き込まれるデータは変更不可能でなければならない」という要件を検討しています。S3 オブジェクト ロックまたは強化されたりポジトリからの不変性の使用をサポートしないジョブの種類はどれですか？(2つお選びください)

- A. NAS バックアップ
- B. Linux エージェントのバックアップ コピー ジョブ
- C. VMware バックアップ ジョブ
- D. Agent for Mac のバックアップ

Answer: A,D (メッセージを残す)

S3 オブジェクト ロックまたは強化されたりポジトリからの不変性の使用をサポートしないジョブの種類は、NAS バックアップと Agent for Mac バックアップです。これらの種類のジョブには、VMware、Hyper-V、Linux エージェント、または Windows エージェントのバックアップ ジョブとは異なり、設定で不変性を有効にするオプションがありません。したがって、S3 オブジェクト ロックの不変機能や強化されたりポジトリを利用して、ランサムウェアや悪意のある削除からバックアップを保護することはできません。

参照: [S3 オブジェクト ロックの不変性]、[強化された Linux リポジトリ]、[NAS バックアップ]、[Agent for Mac]

最新問題: 14

ランサムウェアに対する保護に関する顧客の要件を満たすのはどの戦略ですか？

- A. Linux スケールアウト バックアップ リポジトリを別の物理的な場所に構成し、即時モードでバックアップ コピー ジョブを構成します。
- B. ReFS スケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、同時に別のリポジトリへのバックアップ コピーを実行します。
- C. ReFS スケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、不変性を構成します。
- D. Linux リポジトリを使用してスケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、不変のクラウドストレージにオフロードするように容量階層を構成します。

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 15

ゴールド レベルの仮想マシンのイメージ バックアップの目標復旧時点は 1 時間です。再設計中にどのトランスポート モードを使用できますか？(2つ選択してください)

- A. 仮想アプライアンス (ホットアド)
- B. 直接 SAN アクセス
- C. ネットワーク モード (NBDSSL)
- D. 直接 NFS アクセス
- E. ストレージ スナップショットからのバックアップ

Answer: A,E (メッセージを残す)

説明

1 時間の RPO を持つゴールド層仮想マシンの再設計中に使用できるトランスポート モードは、仮想アプライアンス (ホットアド) とストレージ スナップショットからのバックアップです。トランスポート モードは、バックアップまたはレプリケーション中にソース ストレージから VM データを取得する方法です。仮想アプライアンス (ホットアド) は、VM 上で実行されているプロキシ サーバーが、ホット アド SCSI コマンドを介して別の VM のディスクを自身に接続し、これらのディスクからデータを直接読み取ることができるトランスポート モードです。ストレージ スナップショットからのバックアップは、プロキシ サーバーが、運用 VM やホストに影響を与えることなく、サポートされているストレージ システムによって作成されたストレージ スナップショットからデータを取得できるトランスポート モードです。どちらのトランスポート モードでも、バックアップ パフォーマンスを向上させ、バックアップ ウィンドウを短縮し、実稼働環境への影響を最小限に抑えることができます。

最新問題: 16

お客様は、Veeam インフラストラクチャを拡張するために買収が完了するまで待つのではなく、12 か月後に計画されている買収を見越して、追加のプロキシを追加することを決定しました。プロキシ サーバーを追加すると、すぐにどのような結果が生じますか？

- A. バックアップが完了するまでの時間が短縮される可能性があります。
- B. リポジトリ容量が減少します。
- C. Veeam Backup & Replication データベースのサイズは 2 倍になります。
- D. 追加のリポジトリ サーバーが必要になります。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

ご質問ありがとうございます。VMCA 2022 プロジェクトをお手伝いできることを嬉しく思います。

Veeam 大学病院のニーズと要件を満たすソリューションを設計するには、バックアップ インフラストラクチャに追加のプロキシ サーバーを追加することによる影響と利点を考慮する必要があります。これは、バックアップおよび復元操作のパフォーマンスと効率を最適化し、将来の成長と拡張に備えるのに役立ちます。

Web 検索結果によると、プロキシ サーバーはソース ホストからデータを取得し、処理してバックアップ リポジトリに転送するコンポーネントです。また、データ圧縮、重複排除、暗号化なども実行します。バックアップ プロキシは、プライマリ サイトとリモート サイトの両方に展開できます¹。

追加のプロキシ サーバーを追加した直後の結果は A です。バックアップが完了するまでの時間が短縮される可能性があります。

この結果は次のことを意味します。

*バックアップ完了までの時間は、バックアップ ジョブの開始から終了までの実行にかかる時間を測定する指標です。データのサイズと種類、バックアップ方法と頻度、ネットワーク帯域幅と遅延などのさまざまな要因によって異なります。

*追加のプロキシ サーバーを追加すると、利用可能なプロキシ サーバー間でバックアップのワークロードが分散されるため、バックアップの完了にかかる時間を短縮できます。これにより、バックアップのパフォーマンスと効率が向上し、実稼働環境への影響が軽減されます。

*バックアップが完了するまでの時間を短縮すると、バックアップ ウィンドウと目標復旧時点 (RPO) の要件を満たすだけでなく、他のタスクやジョブのためにより多くのリソースを解放することもできます。

有効な **VMCA2022** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい VMCA2022 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **VMCA2022** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com VMCA2022 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com VMCA2022 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Veeam/VMCA2022-mondaishu.html> (110**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

バックアップ リポジトリをバックアップ ネットワークにのみ配置すると仮定すると、どのような問題が発生する可能性がありますか？

- A. キャパシティ層のオフロードは不可能です。
- B. ラップトップ エージェントはリポジトリと通信できません。
- C. プロキシはリポジトリと通信できません。
- D. SQL ログをリポジトリに送信できません。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

バックアップ リポジトリをバックアップ ネットワークのみに配置した場合に発生する可能性のある問題は、ラップトップ エージェントがリポジトリと通信できないことです。これは、ラップトップ エージェントがバックアップ ネットワークの一部ではなく、既存の技術環境に従ってルーティングできないためです。したがって、ラップトップ エージェントは、プロキシ サーバーまたはゲートウェイ サーバーがない限り、バックアップ ネットワーク内のバックアップ リポジトリにアクセスしたり、バックアップ リポジトリにデータを書き込んだりすることはできません。それは彼らの間のコミュニケーションの橋渡しをすることができます。

参考資料: [Veeam Agents Management Guide]、[Veeam Backup Infrastructure Sizing Calculator]

最新問題: 18

プライマリ バックアップ リポジトリの設計を決定する際、ケース スタディの要件に最も適したオプションはどれですか？

- A. ベンダー API を利用してアクセスする重複排除アプライアンス
- B. 不変性を確保するための S3 オブジェクトロックを備えたパブリック クラウド ストレージ
- C. ReFS 統合、使い捨て認証情報、および永続的な VSS スナップショットを使用する Windows リポジトリ
- D. XFS 統合、使い捨て認証情報、不変性を使用した Linux リポジトリ

Answer: D (メッセージを残す)

このケース スタディの要件を満たすプライマリ バックアップ リポジトリの設計に最適なオプションは、XFS 統合、使い捨て認証情報、および不変性を使用する Linux リポジトリです。Linux リポジトリは、バックアップ ターゲットとして Linux サーバーを使用するバックアップ リポジトリの一種です。LinuxRepository は XFS 統合を活用し、reflink やコピーオンライトなどの XFS ファイル システム機能を使用して合成完全バックアップを迅速に作成および変換できるようにします。Linux リポジトリは、使い捨て認証情報を使用して、バックアップ ジョブ セッションごとに一意の認証情報を生成することでセキュリティを強化することもできます。Linux リポジトリは、不変フラグや chattr コマンドなどの Linux アクセス制御メカニズムを使用して、バックアップ ファイルの不変性とランサムウェア保護を提供することもできます。

最新問題: 19

仮想インフラストラクチャに関連するどの情報が欠落しており、検出フェーズで収集する必要がありますか? (2つ選択してください)

- A. ローカル エリア ネットワークの速度。
- B. 目標復旧ポイント。
- C. バックアップウィンドウ。
- D. ソース データ セットのサイズ。
- E. Microsoft Exchange メールボックスの数。

Answer: A,D (メッセージを残す)

説明

Veeam大学病院の仮想インフラストラクチャ要件を満たすソリューションを設計するには、検出フェーズでいくつかの情報を収集する必要があります。この情報は、VMware クラスターの構成とパフォーマンス、データのサイズとタイプ、バックアップとリカバリの目的を理解するのに役立ちます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、仮想インフラストラクチャに関連する情報の一部が欠落しており、検出フェーズ中に収集する必要があります。

*ローカルエリアネットワークの速度。この情報は、バックアップとレプリケーションのトラフィックに利用可能なネットワーク帯域幅とスループット、およびネットワークのパフォーマンスと遅延に対するバックアップとレプリケーションのアクティビティの影響を判断するのに役立ちます。

*ソースデータセットのサイズ。この情報は、データのサイズとタイプに基づいて、バックアップストレージ要件、バックアップの圧縮率と重複排除率を見積もるのに役立ちます。

したがって、正解はAとDです。

最新問題: 20

オンサイトのリポジトリは不変である必要があることが判明しました。SLA への準拠を保証し、ランサムウェアに対する保護を提供するのはどの構成ですか？

- A. Veeam Backup & Replication サーバーに Veeam レプリケーションを提供し、NFS ターゲット上で不変性を備えた XFS を有効にします。
- B. プライマリ サイトとセカンダリ サイトの両方で強化されたりポジトリを活用し、不変性を有効にしてパブリック クラウドのオブジェクトストレージにオフロードします。
- C. ReFS リポジトリをプライマリ ターゲットとして利用し、バックアップコピーを 2 番目のサイトに置き、不変性を有効にしてパブリック クラウドのオブジェクトストレージにオフロードします。
- D. Veeam Backup & Replication サーバーを 2 つの場所に提供し、オブジェクトストレージを活用します。

Answer: (解答を表示する)

不変リポジトリは、バックアップデータの不正な変更や削除を防ぎ、その整合性と回復可能性を保証するバックアップストレージの場所です。不変リポジトリは、ランサムウェア攻撃、誤った削除、悪意のある内部関係者からバックアップを保護するために不可欠です1。

Veeam Backup & Replication は、強化されたりポジトリ、不変のオブジェクトストレージリポジトリ、不変の重複排除ストレージアプライアンスなど、いくつかのタイプの不変リポジトリをサポートします2。これらのオプションのうち、SLA 準拠を確保し、ランサムウェアから保護するための最適な構成は、プライマリ サイトとセカンダリ サイトの両方で強化されたりポジトリを活用し、不変性を有効にしてパブリック クラウドのオブジェクトストレージにオフロードすることです。

強化されたりポジトリは、バックアップファイルを変更や削除から保護するために不変フラグを備えた XFS ファイルシステムを使用する Linux ベースのリポジトリです。強化されたりポジトリはプライマリまたはセカンダリのバックアップターゲットとして使用でき、Veeam スケールアウト バックアップ リポジトリと組み合わせてバックアップ管理を簡素化し、ストレージ使用率を最適化できます3。

オブジェクトストレージ リポジトリは、Amazon S3、Microsoft Azure Blob

Storage、Google Cloud Storage などのオブジェクトストレージサービスを使用してバックアップデータを保存するクラウドベースのリポジトリです。オブジェクトストレージリポジトリは、セカンダリ バックアップターゲットとして使用でき、クラウドプロバイダーの不変機能を活用して、バックアップデータが上書きされたり削除されたりするのを防ぐことができます。

プライマリ サイトとセカンダリ サイトの両方で強化されたりポジトリを使用することにより、バックアップデータの高可用性と冗長性、および高速で信頼性の高いリストアを実現できます。不変性を有効にしてパブリック クラウドのオブジェクトストレージにオフ

ロードすることで、長期的な保存とコンプライアンス、さらにコスト削減とスケーラビリティを実現できます。この構成は、3-2-1-1 バックアップ ルールにも準拠しています。このルールでは、データの 3 つのコピーを 2 つの異なるタイプのメディアに保存し、1 つのコピーをオフサイトに、もう 1 つのコピーを不変にすることが推奨されます。

不変リポジトリとその構成方法の詳細については、次のリソースを参照してください。

- * 不変バックアップ ソリューション: Linux 強化リポジトリ
- * 不変リポジトリ内の非構造化データのバックアップ
- * 強化されたリポジトリ
- * [オブジェクトストレージリポジトリの不変性]
- * [3-2-1-1 バックアップルール]

最新問題: 21

顧客の担当者と話をすると、現在不変性をサポートしていない大手クラウド プロバイダーと別のプロジェクトに取り組んでいるとのこと。アーカイブストレージとしてクラウド プロバイダーが選択されている場合、オフサイト、不変、またはエアギャップ バックアップの要件を満たすための最良のオプションは次のうちどれですか？

- A. 別のサイトの強化されたリポジトリへのバックアップ コピー。
- B. スケールアウト バックアップ リポジトリの容量層をアーカイブ層とは異なるクラウド プロバイダーに設定します。
- C. バックアップ期間外にオフになるようにスケジュールされている、クラウド内の Windows リポジトリへのバックアップ コピー。
- D. 不変性をサポートするローカルのオンプレミス オブジェクト ストレージに容量階層を設定します。

Answer: B (メッセージを残す)

アーカイブストレージとして選択したクラウド プロバイダーが不変性をサポートしていない場合でも、オフサイト、不変、またはエアギャップ バックアップの要件を満たすための最良のオプションは、アーカイブ層とは異なるクラウド プロバイダーにスケールアウト バックアップ リポジトリの容量層を設定することです。スケールアウト バックアップ リポジトリは、複数のバックアップ リポジトリを 1 つのストレージ プールにグループ化する論理エンティティであり、パフォーマンス層と容量層の間でバックアップ ファイルを移動できるようにします¹。容量層は、不変性のためのオブジェクト ロック機能をサポートする Amazon S3 または Microsoft Azure Blob Storage を使用するように構成できます²。キャパシティ層にアーカイブ層とは異なるクラウド プロバイダーを使用することにより、バックアップ データを 2 つの別々の場所に保存し、一方のコピーを不変またはエアギャップにすることができます。他のオプションは、実行不可能 (シナリオでは別のサイトについて言及していないため、オプション A)、安全ではない (オプション C、リポジトリがオンラインでもバックアップ データにアクセスまたは変更できるため)、オフサイトではない (オプション D) のいずれかです。、シナリオではパブリック クラウドにバックアップ データ

のコピーが必要なため)。参考資料: スケールアウト バックアップ リポジトリ、オブジェクトストレージの不変性。

最新問題: 22

Veeam 大学病院は、各サイトで既存の NFS ストレージを維持できる可能性をテストしています。

ただし、サイト間のバックアップスループットパフォーマンスが低下することがありました。パフォーマンスを向上させる効果的な方法は何でしょうか？

- A. 各場所にマウント サーバーを配置します。
- B. ゲートウェイ サーバーが NFS バックアップ ストレージの近くに配置されていることを確認します。
- C. バックアップ プロキシとゲートウェイ サーバーをソース サイトと一緒に配置します。
- D. ターゲットの場所で場所タグを使用していることを確認してください。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

ゲートウェイ サーバーは、バックアップ プロキシと NFS ストレージ間のデータ ムーバーとして機能するコンポーネントです。

バックアップ プロキシとゲートウェイ サーバーをソース サイトと一緒に配置すると、それらの間のネットワーク トラフィックと遅延が軽減され、データ転送速度が向上します。ゲートウェイ サーバーは NFS ストレージからデータを読み取り、ローカル接続経由でバックアップ プロキシに送信します。バックアップ プロキシは、ターゲット サイトに送信する前にデータを処理して圧縮します¹

最新問題: 23

不変またはエアギャップのあるさまざまな種類のワークロードに関する要件を考慮してください。S3 オブジェクト ロックまたは強化されたリポジトリからの不変性の使用をサポートしておらず、別のソリューションが必要となるジョブの種類はどれですか？

- A. GFS を有効にしたバックアップ コピー ジョブ。
- B. NAS バックアップ。
- C. バックアップ ジョブ。
- D. スケールアウト バックアップ リポジトリが Amazon Glacier のアーカイブ層にオフロードされます。

Answer: ([解答を表示する](#))

*GFS を有効にしてバックアップ コピー ジョブを実行します。このタイプのジョブでは、既存のバックアップ ファイルの変更が必要な合成完全バックアップが使用されるため、S3 オブジェクト ロックによる不変性の使用はサポートされません。合成完全バックアップは、バックアップ ファイルを変更しないという原則に違反するため、不変設定と互換性がありません。

最新問題: 24

顧客は、Veeam Backup & Replication が運用ドメイン上にあると述べています。これはどのような直接的なリスクをもたらしますか？

- A. 2 要素認証を使用できません。
- B. 侵害されたドメイン管理者がアクセスを取得する可能性があります。
- C. REST インターフェイスにアクセスできません。
- D. 侵害されたドメイン ユーザーがアクセスできる可能性があります。

Answer: B (メッセージを残す)

運用ドメインに Veeam Backup & Replication を導入することの直接的なリスクは、侵害されたドメイン管理者がバックアップサーバーとそのデータにアクセスできる可能性があることです。これにより、悪意のあるドメイン管理者がバックアップを削除、変更、暗号化したり、侵害された環境に復元したりする可能性があるため、バックアップ インフラストラクチャと顧客データに重大なセキュリティ上の脅威が生じる可能性があります。したがって、バックアップサーバーを運用ドメインから分離し、その管理には別のローカル管理者アカウントを使用することをお勧めします。

最新問題: 25

MSSQL サーバー仮想マシン上の H: ドライブを除外するためにどの機能が確実に機能するかを判断しようとしています。MSSQL サーバーは、仮想マシン テンプレートからではなく、オンデマンドで構築されます。この要件を達成するための好ましい方法はどれですか？

- A. 各仮想マシンの [仮想マシン] > [除外] ページで、H: が存在するディスクの VMDK 除外を設定します。
- B. MSSQL ジョブで H: ボリュームを除外するには、[ゲスト処理] > [VM バックアップ用アプリケーション] の [除外] タブを使用します。
- C. Veeam Agent Backup を使用し、ボリューム バックアップを設定し、H: 以外のすべてを含めます。
- D. Veeam Agent Backups を使用し、[Guest Processing] > [Application for MSSQL jobs] の [Exclusions] タブを使用します。

Answer: A (メッセージを残す)

説明

MSSQL サーバー仮想マシン上の H: ドライブを除外するという要件を達成するための推奨方法は、各仮想マシンの [仮想マシン] > [除外] ページで、H: が存在するディスクの VMDK 除外を設定することです。この方法では、SCSI ID またはディスク ラベルに基づいて、特定の仮想ディスクをバックアップ ジョブの処理から除外できます。これにより、不要なデータをスキップすることで、バックアップ時間とストレージ容量を節約できます。この方法は、MSSQL サーバーがオンデマンドで構築されたか仮想マシン テンプレートから構築されたかに関係なく、確実に機能します。

最新問題: 26

Veeam Financial Services は、ディザスタ リカバリの目標復旧ポイントは 2 台のビジネス クリティカルな仮想マシンで 1 分であると決定しました。各サイトではどのような Veeam コンポーネントが必要ですか？

- A. Veeam CDP プロキシ。
- B. Veeam ゲスト インタラクション プロキシ。
- C. Veeam バックアップ リポジトリ
- D. Veeam バックアップ プロキシ。

Answer: ([解答を表示する](#))

1 分の目標復旧時点でのディザスタ リカバリのために各サイトで必要となる Veeam コンポーネントは、Veeam CDP プロキシです。Veeam CDP プロキシは、VMware vSphere APIs for I/O Filtering (VAIO) を使用してソース ホストとターゲット ホスト間でデータを転送し、リアルタイムで変更をキャプチャするデータ ムーバーです¹。Veeam CDP プロキシは、ビジネス クリティカルな仮想マシンに対してほぼゼロのリカバリ ポイント目標を達成できるだけでなく、短期のリストア ポイントとデータ暗号化を提供します²。他のコンポーネントは、ゲスト処理、バックアップストレージ、バックアップジョブなどのさまざまな目的に使用されるため、このシナリオには必要ありません³。参考資料: VMware CDP プロキシ、継続的データ保護、バックアップ プロキシ。

最新問題: 27

同社は、ゴールド層仮想マシンのソース使用中データの数値を提供することに取り組んでいます。時間ごとのゴールド層バックアップのメトリクスを収集しようとするには、プロキシのサイジングに次の追加メトリクスのうちどれが必要ですか？

- A. 年間成長率
- B. データストアのタイプ
- C. 変化率
- D. オペレーティング システムの種類

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 28

Veeam Financial Services のミッション クリティカルなアプリケーションの 1 つは毎日バックアップする必要があります。この Linux 仮想マシンはスナップショットスタンの影響を受けやすいです。ビジネス要件に基づいて、これをどのように達成する必要がありますか？

- A. Veeam エージェントを使用してバックアップを実行します。
- B. アプリケーション対応処理を行わずに、ワークロードで通常の仮想マシンのバックアップを実行します。
- C. ワークロードをバックアップする前に、凍結前および解凍後のスクリプトを実行します。
- D. アプリケーション対応処理を使用してバックアップを実行します。

Answer: ([解答を表示する](#))

スナップショットスタンは、VMware スナップショットが削除され、仮想マシン (VM) が一時的にフリーズしたり、パフォーマンスが低下したりするときに発生する現象です¹。これは、VM 上で実行されているミッション クリティカルなアプリケーションの可用性と一貫性に影響を与える可能性があります。

スナップショットのスタンを回避するために、Veeam Backup & Replication では、ストレージ スナップショットからのバックアップ、直接 SAN アクセス、ホットアド 2 など、Linux VM をバックアップするためのオプションをいくつか提供しています。ただし、ビジネス要件に基づくと、ワークロードをバックアップする前に、凍結前および解凍後のスクリプトを実行するのが最善のオプションです。

凍結前および解凍後のスクリプトは、スナップショットの取得前後に Linux VM 上で実行するように構成できるカスタム スクリプトです。フリーズ前スクリプトを使用すると、アプリケーションを静止し、そのデータをディスクにフラッシュして、一貫したバックアップを確保できます。解凍後のスクリプトを使用して、アプリケーションを再開し、必要なクリーンアップ アクションを実行できます³。

凍結前および解凍後のスクリプトを使用すると、アプリケーションの一貫性を実現し、Linux VM に対するスナップショット停止の影響を最小限に抑えることができます。Veeam Backup & Replication ユーザー インターフェイスまたは Veeam PowerShell スナップインを使用して、バックアップ ジョブのスクリプトを構成できます³。

凍結前および解凍後のスクリプトとその使用方法の詳細については、次のリソースを参照してください。

- * 凍結前および解凍後のスクリプト
- * Linux VM をバックアップするためのベスト プラクティス
- * スナップショットスタンの問題

最新問題: 29

Veeam Financial Services のバックアップのどの層で SureBackup ジョブが必要ですか？

- A. ゴールド層。
- B. シルバー層とゴールド層。
- C. ゴールド、シルバー、ブロンズの階層。
- D. すべての仮想マシンとラップトップのバックアップ。

Answer: B (メッセージを残す)

SureBackup ジョブを必要とする Veeam Financial Services のバックアップの階層は、Silver 階層と Gold 階層です。SureBackup ジョブは、隔離された環境でバックアップから仮想マシンを実行し、ライブ アプリケーションに対してテストを実行することにより、バックアップ ファイルの回復可能性を検証するために使用されます¹。この機能は、シルバー層とゴールド層に適しています。シルバー層とゴールド層では、目標復旧時間はそれぞれ 6 時間と 30 分で、バックアップの検証が必要です。開発マシンとフィールド ポータブル マシンで構成されるブロンズ層には、7 日間の目標復旧時点があり、目標復旧時間は設定されておらず、バックアップの検証も必要ありません。したがって、SureBackup ジョ

ブはブロンズ層には必要ありません。ラップトップのバックアップは、SureBackup ジョブをサポートしない Microsoft Windows 用 Veeam Agent によって実行されます²。参考資料: SureBackup、Veeam Agent for Microsoft Windows。

最新問題: 30

このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件は何ですか？

- A. オンプレミスに保護されたデータのコピーが少なくとも 1 つ必要です。
- B. オンプレミスの保持は毎日 14 回、毎週 2 回のバックアップにする必要があります。
- C. 毎日 7 回、毎週 6 回、毎月 3 回の GFS スケジュール。
- D. 不変またはエアギャップされたメディア上にオンプレミスのバックアップが必要です。

Answer: B (メッセージを残す)

Veeam University Hospital のバックアップ保持要件を満たすソリューションを設計するには、このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件を考慮する必要があります。これは、バックアップ データの可用性と信頼性、およびバックアップ ストレージのコンプライアンスとセキュリティを確保するのに役立ちます。

ケーススタディによると、このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件は B です。

オンプレミスでのバックアップは毎日 14 回、毎週 2 回バックアップする必要があります。この要件は次のことを意味します。

*オンプレミスのバックアップ保持期間は、NFS ストレージ、重複排除アプライアンスなどのローカル バックアップ ストレージにバックアップ データを保持する期間を定義するポリシーです。

*オンプレミスのバックアップ保持は、日次バックアップ 14 個と週次バックアップ 2 個である必要があります。つまり、日次バックアップの少なくとも 14 コピーと週次バックアップのコピー 2 つをローカル バックアップ ストレージに保持する必要があります。

*オンプレミスのバックアップ保持は、仮想マシン、物理サーバー、NAS システムなど、Veeam Backup & Replication によってバックアップされるすべてのタイプのワークロードに適用する必要があります。

この要件は、次のような Veeam 大学病院のビジネス ニーズとコンプライアンス ニーズに基づいています。

*災害や障害が発生した場合に、最新のバックアップを迅速かつ信頼性の高い復元オプションで提供できるようにするため。

*医療機関にバックアップ データを少なくとも 6 年間保持することを義務付ける HIPAA 規制に準拠するため¹。

最新問題: 31

ゴールド層の仮想マシンの保持要件は何ですか？

- A. 強化されたバックアップ リポジトリにオンプレミスのバックアップが必要です。

B. ゴールド層の仮想マシンの目標復旧時点は、イメージン バックアップで 1 時間、トランザクション LOB バックアップで 15 分です。

C. 週次バックアップが 8 回、月次バックアップが 3 回、年次バックアップが 7 回あります。

D. ゴールド層の仮想マシンの保持は、毎日 14 回、毎週 8 回、毎月 3 回、年間 7 回のバックアップである必要があります。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

ゴールド層の仮想マシンの保持要件は、毎日 14 回、毎週 8 回、毎月 3 回、および年間 7 回のバックアップが必要であることです。この要件は、規制上の目的で毎週 8 回、毎月 3 回、および年間 7 回のバックアップを行うという技術要件と、ゴールド層の仮想マシンを毎日バックアップするというビジネス要件から導き出すことができます。

有効な **VMCA2022** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい VMCA2022 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **VMCA2022** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com VMCA2022 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com VMCA2022 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Veeam/VMCA2022-mondaishu.html> (**11030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

ランサムウェアに対する保護に関する顧客の要件を満たすのはどの戦略ですか？

A. Linux リポジトリを使用してスケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、不変のクラウドストレージにオフロードするように容量層を構成します。

B. ReFS スケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、同時に別のリポジトリへのバックアップ コピーを実行します。

C. Linux スケールアウト バックアップ リポジトリを別の物理的な場所に構成し、即時モードでバックアップ コピー ジョブを構成します。

D. ReFS スケールアウト バックアップ リポジトリをデプロイし、不変性を構成します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

*Linux リポジトリをパフォーマンス層として使用します。Linux リポジトリは、不変バックアップをサポートし、ランサムウェアによるバックアップ ファイルへのアクセスや削除を防ぐため、Windows リポジトリよりも安全で復元力が高くなります¹。

*不変のクラウドストレージを容量層として使用します。これにより、古いバックアップ ファイルが、不変ポリシーを備えた Amazon S3 オブジェクト ロックや Azure Blob Storage などの不変性をサポートするパブリック クラウド オブジェクト ストレージにオフロードされます²。これにより、指定された期間、ランサムウェアや悪意のあるユーザーによってバックアップ ファイルが変更または削除されることがなくなります。

*スケールアウト バックアップ リポジトリを使用します。これは、複数のバックアップ リポジトリを 1 つのストレージ プールにグループ化する論理エンティティであり、バックアップ パフォーマンス、拡張性、および管理の向上を可能にします³。

参考資料: 1: 不変バックアップでランサムウェアから保護 - Veeam 2: ランサムウェア保護:

Veeam がデータを保護する方法を学ぶ 3: スケールアウト バックアップ リポジトリ - Veeam バックアップ & レプリケーション ベスト プラクティス ガイド

最新問題: 33

アーキテクチャのレビュー中に、設計されたアーキテクチャを実装するエンジニアは、Oracle バックアップの要件を完全に満たすためにどのように進めるべきかを尋ねます。これらの要件を満たすために再販はどのように処理されるべきでしょうか？

- A. RMAN プラグインをインストールして構成します。
- B. すべての Oracle バックアップの凍結前および解凍後のスクリプトを作成します。
- C. Veeam Backup Enterprise Manager を実装して構成し、Oracle 管理者のみが Oracle バックアップにアクセスできるように RMAN を構成します。
- D. すべての Oracle サーバーにエージェントをデプロイし、アプリケーション対応の処理が構成されていることを確認します。

Answer: ([解答を表示する](#))

*RMAN プラグインは、Veeam Backup & Replication を Oracle バックアップおよびリカバリ用のネイティブ ツールである Oracle RMAN と統合するコンポーネントです¹²。

*RMAN プラグインを使用すると、Oracle RMAN コマンドを使用して、Oracle データベースを Veeam バックアップ リポジトリにバックアップおよび復元したり、ログ配布やポイントインタイム リカバリを実行したりできます¹²。

*RMAN プラグインは、物理サーバーやクラウド環境だけでなく、サポートされているオペレーティング システムやハイパーバイザー上で実行される Oracle データベースもサポートします¹²。

*RMAN プラグインは、圧縮、重複排除、暗号化、スケーラビリティ、信頼性など、Veeam Backup & Replication の機能と利点を活用します¹²。

トピック 1、Veeam 大学病院

概要:

Veeam University Hospital は、ボストン、ソルトレイクシティ、コロンバスに拠点を置く医療ネットワークです。

彼らは多くの病気に対する画期的な治療法の先駆者とみなされており、この分野のリーダーとして世界中で認められています。彼らは、新たな規制要件と進化し続けるマルウェアの問題を考慮して、データ保護戦略を最新化することを決定しました。彼らは最近もランサムウェア攻撃を受け、患者の治療に関わるいくつかのシステムに影響を与えました。

さらに、災害発生時にサイト間のタイムリーなフェイルオーバーを可能にし、提供される患者ケアのレベルの継続性を確保するために、サイト間で仮想ワークロードをレプリケーションすることに関心を示しています。

同社の取締役会は、現時点でのすべての仮想ワークロードが単一障害点とみなされる可能性があることを懸念しています。

Veeam大学病院でも、NASシステムのバックアップに必要な時間の問題が発生しています。

時間がかかりすぎるだけでなく、必要なスペースの量が多すぎると考えられるため、これらのバックアップ用のストレージスペースの削減が望まれています。

Veeam大学病院は、Exchangeアイテムの復元に必要な時間に問題を抱えていました。現在のソリューションではメールボックス全体のみが復元され、細分性はありません。

この実装を成功させるには、割り当てられたバックアップ ウィンドウ内にバックアップが完了する必要がある、データのリカバリは現在のソリューションよりも速くなければなりません。システムの完全な復元には 24 ～ 48 時間かかる場合があります。

ソリューションコンセプト:

Veeam 大学病院は、現在のバックアップ ソリューションである Veeam を置き換えます。災害復旧の目的でバックアップをオフサイトにコピーし、3 つのサイトすべてでデータを保護する予定です。また、ランサムウェアによる新たなデータ損失を防ぐための措置を講じることにも関心を示しています。攻撃者は攻撃の一環として既存のバックアップを暗号化することもできたため、データの回復は不可能です。Veeam大学病院は、このリスクの軽減に役立つ可能性のあるパブリック クラウド テクノロジーにも関心を持っています。

さらに、実行中のワークロードのセカンダリ サイトへのレプリケーションも実装され、災害発生時のサイト フェールオーバーが可能になり、ダウンタイムが短縮されます。

既存の技術環境:

Veeam 大学病院はすべての場所に VMware クラスタを備えています。セキュリティ上の理由から、各クラスタはサーバーを提供する部門専用です。クラスタ間で通信はできません。これらのクラスタは 2 つのカテゴリに分類され、1 つはデータベース ワークロードをホストし、もう 1 つは汎用仮想マシンをホストします。

機密の患者データは、非構造化データとして複数の NAS システムに存在します。これらの NAS システムは、データベースの一貫性を確保するためにバックアップのみを提供します。

Veeam大学病院には社内の患者データベースがあり、データベースの一貫性を確保するためにバックアップ前にカスタム スクリプトを実行する必要がありました。

MSSQL と Oracle は、ほとんどの部門で仮想展開と物理展開が混在して使用されています。

各サイトはパブリック インターネットへの 10 GbE リンクとして機能し、サイト間のすべてのトラフィックは VPN 経由でこれらの接続を介してルーティングされます。

各サイトには 20 の vLAN が使用されており、そのうち 16 は VMware ワークロードに使用されます。

セキュリティと規制の目的で、すべての vLAN は相互にファイアウォールで遮断されています。

現在のバックアップは NFS ストレージに書き込まれます。

すべての医師と検査スタッフにはラップトップが割り当てられており、これも保護する必要があります。これらのデバイス上のデータの場所はグループ ポリシーによって強制され、組織全体で一貫しています。

現時点では、バックアップ ファイルからの復元以外の災害復旧ソリューションは存在しません。

ビジネス要件：

新しいソリューションでは、自動化とセルフサービス機能を活用する必要があります。管理コストを削減するには、両方の機能が必要です。ロールベースのアクセス (RBAC) は必須です。たとえば、Oracle データのセルフサービス リストアを実行できるのは、Oracle 管理者だけです。

ミッションクリティカルなアプリケーションは、営業時間中に影響を受けてはなりません。すべてのバックアップは次の間隔で完了する必要があります。

現地時間の午後6時と午前8時。

規制要件を満たすには、すべてのデータを 3 年間保持する必要があります。

アーカイブの目的で、12 回の月次バックアップと 3 回の年次バックアップをオフサイトに保存する必要があります。

Veeam大学病院は、3年間のバックアップ保持期間の増加に対応するためにオンプレミスのストレージのみを購入します。

レプリケートされた仮想ワークロードの場合、データは 1 時間以内のものである必要があります。

規制要件により、すべての保護データは送信中および保存中に暗号化する必要があります。

顧客サービス レベル アグリーメントを満たすために、市販のヘルプデスク チケット発行システムが使用されています。サポート チケットを作成するには、生成されたすべてのアラートをこのシステムと統合する必要があります。

技術的要件：

バックアップでは、長期アーカイブの目的でパブリック クラウド ストレージを利用する必要があります。

ソリューションはローカル バックアップを保持し、運用データの追加コピーを作成できる必要があります。どちらのバックアップも、運用システムが保護されているサイトに存在する必要があります。

迅速な復元と回復のために、少なくとも保護されたデータのコピーがオンプレミスに存在する必要があります。

ランサムウェアの脅威のため、保護されたデータの不変コピーまたはエアギャップコピーが少なくとも 1 つ、オフサイトに存在する必要があります。

データの整合性を確保するには、復元を実行する前にバックアップを検証し、マルウェアがないかスキャンする必要があります。

セルフサービス Oracle リストアに加えて、ネイティブ Oracle ツールが利用可能であり、アドホック バックアップとリストアを実行できる PowerShell スクリプトが用意されている必要があります。

バックアップ ソリューションは、VMware 暗号化データストアをサポートする必要があります。

バックアップは、無停止で拡張できる論理的にスケーラブルなストレージ システムに保存する必要があります。

エンド ユーザーのラップトップのバックアップの場合は、ユーザー データのみをバックアップする必要があります。オペレーティング システム ファイルは除外する必要があります。

音楽、写真、ビデオなどの個人ファイルはバックアップから除外する必要があります。

最新問題: 34

Veeam Financial Services は、計画中にバックアップ時間を 12 時間から 14 時間に変更することを決定しました。これを基に設計の何を変更できるでしょうか？

- A. プロキシにはより多くのリソースが必要になります。
- B. マウント サーバーに必要なリソースは少なくなります。
- C. プロキシに必要なリソースは少なくなります。
- D. リポジトリにはさらに多くのストレージ スペースが必要になります。

Answer: C (メッセージを残す)

バックアップ ウィンドウを 12 時間から 14 時間に変更すると、バックアップ ジョブが完了するまでの時間が長くなり、必要な同時実行性が減ります。これにより、バックアップ、レプリケーション、および復元タスクを実行するデータ ムーバーであるプロキシの負荷が軽減されます¹。プロキシは、同じ量のデータを処理するために必要な CPU やメモリなどのリソースが少なくなります。

他のオプションは次の理由で正しくありません。

- * A) 上で説明したように、プロキシには追加のリソースは必要ありません。
- * B) マウント サーバーはバックアップ ウィンドウの影響を受けないため、必要なリソースが少なくなります。マウント サーバーは、バックアップ ファイルをマウントし、そこからデータを復元するために使用されます²。リソースの消費量は、バックアップ ウィンドウではなく、復元の頻度とパフォーマンスによって決まります。
- * D) バックアップ ウィンドウはバックアップ サイズに影響しないため、リポジトリには追加のストレージ スペースが必要ありません。リポジトリは、バックアップ ファイルが保存される保存場所です³。ストレージ容量の消費量は、バックアップ時間帯ではなく、バックアップするデータの量、バックアップ方法、保持ポリシー、圧縮と重複排除の設定によって決まります。

バックアップ ウィンドウと Veeam コンポーネントの詳細については、次のリソースを参照してください。

- * バックアップウィンドウ
- * マウントサーバー
- * バックアップリポジトリ

最新問題: 35

発見時にどのような重要な情報が欠けていましたか? (2つ選択してください)

- A. 現在使用されているバックアップ ストレージのタイプ。
- B. Windows 仮想マシンと Linux 仮想マシン間の割合。
- C. 現在のデータセットのサイズ。
- D. Veeam 大学病院が使用する仮想化プラットフォーム。
- E. バックアップ保持ポリシー。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

Veeam 大学病院のニーズと要件を満たすソリューションを設計するには、探索フェーズでいくつかの重要な情報を収集する必要があります。この情報は、環境の現状、利害関係者の目標と期待、プロジェクトの制約と課題を理解するのに役立ちます。

ケーススタディによると、発見時に欠落していた重要な情報の一部は次のとおりです。

*現在のデータセットのサイズ。この情報は、データのサイズと種類に基づいてバックアップ ストレージ要件、バックアップのパフォーマンスと効率を見積もるのに役立つため、非常に重要です。仮想マシン、物理サーバー、NAS システムなどの各ワークロードに保存されているデータの量と、日次または週次で変更または追加されるデータの量を把握する必要があります。

*バックアップ保持ポリシー。この情報は、バックアップ コピーの数と頻度、バックアップ ストレージ層、バックアップ削除ルールなどのバックアップ保持設定とポリシーを定義するのに役立つため、重要です。バックアップ データの保存期間を知る必要があります。コンプライアンスまたは履歴の目的、および使用可能なバックアップ ストレージ容量または必要なバックアップ ストレージ容量の量を保持します。

最新問題: 36

さらに詳しい技術調査の結果、お客様も保護を必要とするファイバー チャネル SAN を所有していることが判明しました。Veeam大学病院は、ストレージ スナップショットからバックアップを実行するオプションについて尋ねています。これにはどのようなコンポーネントが必要ですか?

- A. サーバー上で実行されている Veeam バックアップ プロキシとリポジトリ。
- B. 物理サーバー上で実行されている Veeam バックアップ プロキシ。
- C. Windows サーバーを実行している Veeam バックアップ プロキシ。
- D. Linux サーバー上で実行されている Veeam バックアップ プロキシ。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

ファイバー チャネル SAN のストレージ スナップショットからバックアップを実行するには、バックアップ プロキシとして機能する 1 つ以上の物理サーバーを展開し、それらを SAN ファブリックに接続する必要があります。これは、Veeam Backup & Replication がファイバ チャネル プロトコルを介してストレージ システムにアクセスする必要があるためですが、これは仮想マシンではサポートされていません。バックアップ プロキシは、ストレージ スナップショットからデータを読み取り、バックアップ リポジトリに転送します1

最新問題: 37

オフサイトで 1 日に必要な数の復元ポイントを作成していることを確認するために、後でバックアップ コピー ジョブ設定を適切に計画するには、どのタイプのバックアップ ジョブに関する詳細情報が必要ですか？

- A. ブロンズ層のバックアップ ジョブ
- B. シルバー層のバックアップ ジョブ
- C. ゴールド層のバックアップ ジョブ
- D. ラップトップのバックアップ ジョブ

Answer: ([解答を表示する](#))

ゴールド層のバックアップ ジョブには、イメージ バックアップに 1 時間、トランザクション ログ バックアップに 15 分の最も厳しい目標復旧時点 (RPO) が設定されています。つまり、他のバックアップ ジョブよりも頻繁に実行し、1 日あたりより多くの復元ポイントを作成する必要があります。したがって、バックアップ コピー ジョブの設定を適切に計画するには、VM の数、バックアップのサイズ、変更率、保持ポリシー、バックアップのコピーに使用できる帯域幅など、ゴールド層のバックアップ ジョブに関する詳細情報が必要になります。オフサイトの場所へ。

参考資料: [バックアップ コピー]、[バックアップ方法]、[継続的なデータ保護]

最新問題: 38

指定された要件に従って、バックアップを暗号化する必要があります。Veeam のネイティブ暗号化を使用している場合、どのリポジトリ タイプが最も影響を受けますか？

- A. 重複排除ストレージ アプライアンス。
- B. SMB 共有。
- C. XFS reflink クローン作成による強化されたリポジトリ。
- D. ブロック クローン作成を備えた Windows ReFS。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Veeam のネイティブ暗号化を使用している場合、最も影響を受けるリポジトリ タイプは重複排除ストレージ アプライアンスです。これは、Veeam Backup & Replication がジョブ セッションごとに異なる暗号化キーを使用するため、重複データが含まれている場合でも、暗号化されたデータ ブロックが異なるように見えるためです。これにより、重複排除率が低下し、重複排除アプライアンスのストレージ消費量が増加します。より高い重複排除

率を達成したい場合は、データ暗号化を無効にするか、重複排除アプライアンス自体の暗号化機能を使用できます1

最新問題: 39

レプリケートされた仮想ワークロードの場合、データは 1 時間以上古いものであってはなりません。この要件のオフサイト災害復旧の側面に関して、SLA にとって潜在的なリスクは何ですか？

- A. ネットワーク ホップの量。
- B. データ変更率。
- C. 仮想マシンの平均サイズ
- D. ローカル エリア ネットワークの帯域幅。

Answer: ([解答を表示する](#))

レプリケートされた仮想ワークロード データが 1 時間以内に保存されるという要件を満たすディザスタ リカバリ ソリューションを設計するには、オフサイトのディザスタ リカバリのサービス レベル アグリーメント (SLA) に影響を与える可能性がある潜在的なリスクと課題のいくつかを考慮する必要があります。この要件の側面。これは、レプリケーションとフェイルオーバーのプロセスの可用性と信頼性、さらには組織の目標復旧時間 (RTO) と目標復旧時点 (RPO) を確保するのに役立ちます。

Veeam のバックアップおよびレプリケーションのベスト プラクティス ガイドによると、この要件のオフサイトのディザスタ リカバリの側面における SLA に対する潜在的なリスクの 1 つは、B. データ変更率です。

このリスクは次のことを意味します。

※データ変化率とは、一定期間内に変更、追加、削除されたデータの量です。通常、1 時間あたりのパーセンテージまたはメガバイト数で測定されます。

*データ変更率は、ソース サイトとターゲット サイト間で転送および処理する必要があるデータの量を決定するため、レプリケーションのパフォーマンスと効率に影響します。

*データ変更率は、レプリカが更新され、ソース ワークロードと同期される頻度と精度を決定するため、レプリケーションの頻度と一貫性にも影響します。

*データ変更率は、データベース、ファイル サーバー、Web サーバーなどのワークロードのタイプやアクティビティによって異なる場合があります。一部のワークロードではデータ変更率が高く、他のワークロードではデータ変更率が低い場合があります。

*データ変更率が、ソース サイトとターゲット サイトの間で利用可能な帯域幅またはストレージ容量を超える可能性があり、その結果、レプリケーションの失敗、遅延、またはエラーが発生する可能性があります。これにより、レプリケートされた仮想ワークロード データが 1 時間以上古いものになる可能性があるため、この要件のオフサイト災害復旧の側面に関する SLA が損なわれる可能性があります。

このリスクは、Veeam 製品および機能を使用したソリューションの設計に次のような影響を及ぼします。

*顧客またはサードパーティ ベンダーは、レプリケートする必要があるワークロードのデータ変更率、ソース サイトとターゲット サイトの間で利用可能な帯域幅とストレージ容量を監視および測定する必要があります。これは、データ変更率に基づいて、プロキシ サーバー、リポジトリ サーバー、WAN アクセラレータ、フェイルオーバー プランなどのレプリケーション インフラストラクチャを計画および最適化するのに役立ちます。

*顧客またはサードパーティ ベンダーは、データ変更率に基づいて、レプリケーション方法、スケジュール、頻度、保持、圧縮、重複排除などのレプリケーション設定とポリシーを構成および調整する必要があります。これは、レプリケーションのパフォーマンスと効率を向上させるだけでなく、この要件のオフサイト災害復旧の側面に関する SLA を満たすのにも役立ちます。

最新問題: 40

このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件は何ですか？

- A. オンプレミスに保護されたデータのコピーが少なくとも 1 つ必要です。
- B. オンプレミスの保持は毎日 14 回、毎週 2 回のバックアップにする必要があります。
- C. 毎日 7 回、毎週 6 回、毎月 3 回の GFS スケジュール。
- D. 不変またはエアギャップされたメディア上にオンプレミスのバックアップが必要です。

Answer: B (メッセージを残す)

説明

Veeam University Hospital のバックアップ保持要件を満たすソリューションを設計するには、このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件を考慮する必要があります。これは、バックアップ データの可用性と信頼性、およびバックアップ ストレージのコンプライアンスとセキュリティを確保するのに役立ちます。

ケーススタディによると、このプロジェクトのオンプレミスのバックアップ保持の最小要件は B です。

オンプレミスでのバックアップは毎日 14 回、毎週 2 回バックアップする必要があります。この要件は次のことを意味します。

*オンプレミスのバックアップ保持期間は、NFS ストレージ、重複排除アプライアンスなどのローカル バックアップ ストレージにバックアップ データを保持する期間を定義するポリシーです。

*オンプレミスのバックアップ保持は、日次バックアップ 14 個と週次バックアップ 2 個である必要があります。つまり、日次バックアップの少なくとも 14 コピーと週次バックアップのコピー 2 つをローカル バックアップ ストレージに保持する必要があります。

*オンプレミスのバックアップ保持は、仮想マシン、物理サーバー、NAS システムなど、Veeam Backup & Replication によってバックアップされるすべてのタイプのワークロードに適用する必要があります。

この要件は、次のような Veeam 大学病院のビジネス ニーズとコンプライアンス ニーズに基づいています。

*災害や障害が発生した場合に、最新のバックアップを迅速かつ信頼性の高い復元オプションで提供できるようにするため。

*医療機関にバックアップ データを少なくとも 6 年間保持することを義務付ける HIPAA 規制に準拠するため1。

最新問題: 41

顧客の強化要件に基づいて、ストレージ構成を修正するにはどのような手順を実行する必要がありますか？

- A. バックアップ コピー ジョブをオブジェクト ストレージに直接送信します
- B. ReFS を使用して新しいスケールアウト バックアップ リポジトリを作成し、バックアップを新しいスケールアウト バックアップ リポジトリにリダイレクトします。
- C. 強化されたリポジトリを各スケールアウト バックアップ リポジトリに追加し、CIFS エクステンションからデータを退避します。
- D. CIFS エクステンションのオブジェクト ロックを有効にします。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

お客様の強化要件に基づいてストレージ構成を修正するには、強化されたリポジトリを各スケールアウト バックアップ リポジトリに追加し、CIFS エクステンションからデータを退避する必要があります。強化されたリポジトリは、Linux XFS ファイル システム機能と Linux アクセス制御メカニズムを使用して、バックアップ ファイルの不変性とランサムウェア保護を提供するバックアップ リポジトリの一種です。スケールアウト バックアップ リポジトリは、複数のバックアップ リポジトリを 1 つのストレージ プールにグループ化する論理エンティティです。CIFS エクステンションは、Windows または Linux サーバー上の共有フォルダーをバックアップ ターゲットとして使用するバックアップ リポジトリの一種です。強化されたリポジトリを各スケールアウト バックアップ リポジトリに追加することで、バックアップの安全性、準拠性、効率性を確保できます。CIFS エクステンションからデータを退避させることで、ランサムウェア感染やバックアップの削除のリスクを排除できます。

最新問題: 42

仮想インフラストラクチャに関連するどの情報が欠落しており、検出フェーズで収集する必要がありますか？ (2つ選択してください)

- A. ローカル エリア ネットワークの速度。
- B. 目標復旧ポイント。
- C. バックアップウィンドウ。
- D. ソース データ セットのサイズ。
- E. Microsoft Exchange メールボックスの数。

Answer: ([解答を表示する](#))

Veeam大学病院の仮想インフラストラクチャ要件を満たすソリューションを設計するには、検出フェーズでいくつかの情報を収集する必要があります。この情報は、VMware クラ

スターの構成とパフォーマンス、データのサイズとタイプ、バックアップとリカバリの目的を理解するのに役立ちます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、仮想インフラストラクチャに関連する情報の一部が欠落しており、検出フェーズ中に収集する必要があります。

*ローカルエリアネットワークの速度。この情報は、バックアップとレプリケーションのトラフィックに利用可能なネットワーク帯域幅とスループット、およびネットワークのパフォーマンスと遅延に対するバックアップとレプリケーションのアクティビティの影響を判断するのに役立ちます。

*ソースデータセットのサイズ。この情報は、データのサイズとタイプに基づいて、バックアップストレージ要件、バックアップの圧縮率と重複排除率を見積もるのに役立ちます。したがって、正解はAとDです。

最新問題: 43

要件に基づいて、サイト間で仮想マシンのレプリケーションを実装する場合、物理設計に何を考慮する必要がありますか？

- A. Veeam バックアップ プロキシには別の ESXi ホスト上の仮想サーバーを使用します。
- B. 各サイトで Veeam バックアップ プロキシに物理サーバーを使用します。
- C. 各サイトのプロキシ間で適切なファイアウォール ポートが開いていることを確認します。
- D. Veeam Backup & Replication サーバーと同じ仮想マシン上に Veeam Backup Enterprise Manager を構成します。

Answer: ([解答を表示する](#))

要件に基づいて、サイト間で仮想マシンのレプリケーションを実装するときに物理設計で考慮すべき要素の 1 つは、各サイトのプロキシ間で適切なファイアウォール ポートが開いていることを確認することです。これは、Veeam Backup & Replication がネットワークポートを使用してバックアップインフラストラクチャコンポーネントと通信し、レプリケーション中にデータを転送するためです。必要なポートがファイアウォールや他のネットワークデバイスによってブロックされていないことを確認する必要があります。Veeam Backup & Replication で使用されるポートのリストについては、この記事を参照してください2

最新問題: 44

「パスワードを紛失した場合に、暗号化されたバックアップの代替復号化機能が可能でなければならない」という要件を満たすのに役立つコンポーネントは何ですか？

- A. Veeam Backup & Replication の構成バックアップ
- B. Veeam Backup Enterprise Manager
- C. Veeam Backup & Replication の抽出エクスプローラー
- D. Veeam Backup & Replication の抽出ユーティリティ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

パスワードを紛失した場合に、暗号化されたバックアップに対する代替の復号化機能の要件を満たすのに役立つコンポーネントは、Veeam Backup Enterprise Manager です。Veeam Backup Enterprise Manager は、複数の Veeam バックアップ サーバーを集中管理できる Web ベースのインターフェイスです。また、パスワード紛失防止機能も提供しており、許可されたユーザーがパスワードを忘れたり紛失したりした場合に、パスワードを入力せずに暗号化されたバックアップを復元できます。この機能を使用するには、Veeam Backup Enterprise Manager 設定でパスワード紛失保護を有効にし、パスワード回復リクエストを承認できるユーザーにセキュリティ担当者の役割を割り当てる必要があります。

参考資料: [Veeam Backup Enterprise Manager]、[パスワード紛失防止]

最新問題: 45

要件のリストを検討すると、バックアップを暗号化する必要があることがわかります。Veeam のネイティブ暗号化を使用する場合、どのリポジトリ タイプが最も影響を受けますか？

- A. 重複排除リポジトリ
- B. XFS reflink クローン作成を使用した不変 Linux リポジトリ
- C. NFS 共有リポジトリ
- D. ブロック クローン作成を使用した Windows ReFS

Answer: A (メッセージを残す)

Veeam のネイティブ暗号化を使用することによって最も影響を受けるリポジトリ タイプは、重複排除リポジトリです。

重複排除リポジトリは、重複排除アプライアンスまたはソフトウェアを使用してバックアップ サイズを削減し、ストレージ使用率を最適化するバックアップ リポジトリです。ただし、重複排除リポジトリをターゲットとするバックアップ ジョブに Veeam のネイティブ暗号化を使用すると、暗号化されたデータ ブロックは効果的に重複排除できないため、重複排除の利点のほとんどが失われます。したがって、重複排除デバイスまたはソフトウェアの暗号化機能を使用するか、重複排除リポジトリの暗号化を完全に回避することをお勧めします。

最新問題: 46

既存のエラーを見ると、ほとんどの問題は別のリポジトリで解決できるのではないかと考えられます。

リポジトリがはるかに高いスループットを達成できると仮定すると、どのような新しい問題が発生する可能性がありますか？

- A. サイト間の帯域幅が十分でない可能性があります。
- B. リポジトリのスペース消費量が減少する可能性があります
- C. 運用環境のファイアウォールがボトルネックになる可能性があります
- D. バックアップ速度の向上により、運用ストレージが完全にダウンする可能性があります。

Answer: (解答を表示する)

説明

リポジトリがはるかに高いスループットを達成できる場合、サイト間の帯域幅が、フレズノとカーソンシティの間に毎日実行する必要があるバックアップ コピー ジョブをサポートするには十分ではない可能性があるという新たな問題が発生する可能性があります。これにより、バックアップ コピー ジョブが失敗したり、予想より時間がかかったり、ネットワーク リソースを過剰に消費したりする可能性があります。したがって、サイト間で利用可能な帯域幅を測定し、それをバックアップ コピーのデータ サイズおよびウィンドウと比較することが重要です。帯域幅が十分でない場合、考えられる解決策としては、圧縮、重複排除、または WAN アクセラレーションを使用してバックアップ コピーのトラフィックを削減することが考えられます。

有効な **VMCA2022** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい VMCA2022 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **VMCA2022** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com VMCA2022 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com VMCA2022 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Veeam/VMCA2022-mondaishu.html> (110**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

プロキシに使用するトランスポート モードを決定するときに、要件の 1 つが VMware で暗号化されたデータストアをサポートしていることに気づきました。バックアップ プロキシにはどの処理モードを利用できますか？

(3つ選択してください)

- A. 暗号化を使用したネットワーク モード (NBDSSL)。
- B. 仮想アプライアンス (ホットアド) モード。
- C. ネットワーク (NBD) モード。
- D. 直接 SAN。
- E. 直接 SMB。
- F. 直接 NFS。

Answer: A,B,E (メッセージを残す)

説明

VMware の暗号化されたデータストアにアクセスするには、暗号化をサポートするトランスポート モードを使用する必要があります。次のトランスポート モードは暗号化をサポートしています。

*暗号化付きネットワーク モード (NBDSSL): このモードでは、バックアップ プロキシと ESXi ホストの間の暗号化されたネットワーク接続を使用して、暗号化されたデータストアからデータを読み書きします。このモードではデータストアに直接アクセスする必要はあ

りませんが、ネットワーク トラフィックと暗号化のオーバーヘッドにより、他のモードより遅くなる可能性があります2

*仮想アプライアンス (ホットアド) モード: このモードは、ESXi ホスト上で実行される仮想バックアップ プロキシを使用し、VMware vSphere API を使用して暗号化された VM の仮想ディスクをそれ自体に接続します。このモードでは、バックアップ プロキシとソース VM が同じデータストア上、または同じ ESXi ホストからアクセスできるデータストア上に存在する必要があります。このモードはネットワーク モードよりも優れたパフォーマンスを提供しますが、複数のバックアップ プロキシが同じデータストアに同時にアクセスすると、SCSI 予約の競合が発生する可能性があります3

*ダイレクト SMB: このモードは、SMB プロトコル経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します。このモードでは、データストアが SMB 共有として構成されており、バックアップ プロキシがそのデータストアに対する読み取りおよび書き込み権限を持っている必要があります。このモードは高いパフォーマンスとスケーラビリティを提供しますが、追加の構成手順とセキュリティに関する考慮事項も必要です4。次のトランスポート モードは暗号化をサポートしません。

*ネットワーク (NBD) モード: このモードでは、バックアップ プロキシと ESXi ホストの間で暗号化されていないネットワーク接続が使用され、暗号化されたデータストアにアクセスできません2

*ダイレクト SAN: このモードは、SAN ファブリック経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します。これでは、暗号化されたデータを復号化できません5

*ダイレクト NFS: このモードは、暗号化をサポートしていない NFS プロトコル経由で暗号化されたデータストアにアクセスする物理バックアップ プロキシを使用します6

1: 強化されたリポジトリ - VMware vSphere のユーザー ガイド 2: ネットワーク モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 3: 仮想アプライアンス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 4: ダイレクト SMB アクセス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド 5: ダイレクト SAN アクセス モード - VMware vSphere 6 のユーザー ガイド: ダイレクト NFS アクセス モード - VMware vSphere のユーザー ガイド

最新問題: 48

ケーススタディで言及されている領域をさらに分析することで利益が得られるのは、次のどの領域ですか？

(3つ選択してください)

- A. VMware
- B. MSSQL
- C. NAS
- D. オンプレミス Exchange
- E. PostgreSQL
- F. Hyper-V

Answer: B,C,E (メッセージを残す)

ケーススタディで言及されている領域の追加分析から恩恵を受けられる領域は、MSSQL、NAS、および PostgreSQL です。これらの領域には、Veeam バックアップ インフラストラクチャの設計とサイジングで考慮および対処する必要がある特定のバックアップおよびリストア要件があります。たとえば、MSSQL では、一貫したバックアップとポイントインタイム リカバリを保証するために、トランザクション ログ バックアップとアプリケーション対応の処理が必要です。NAS では、バックアップのパフォーマンスとストレージ効率を最適化するために、ファイル レベルのバックアップとストレージの統合が必要です。PostgreSQL では、バックアップ前にデータベースを静止し、バックアップ後にデータベースを再開するために、凍結前および解凍後のスクリプトが必要です。
参考資料：「MSSQLサーバーバックアップ」、「NASバックアップ」、「PostgreSQLバックアップ」

最新問題: 49

お客様は、Veeam インフラストラクチャを拡張するために買収が完了するまで待つのではなく、12 か月後に計画されている買収を見越して、追加のプロキシを追加することを決定しました。プロキシ サーバーを追加すると、すぐにどのような結果が生じますか？

- A. バックアップが完了するまでの時間が短縮される可能性があります。
- B. リポジトリ容量が減少します。
- C. Veeam Backup & Replication データベースのサイズは 2 倍になります。
- D. 追加のリポジトリ サーバーが必要になります。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

ご質問ありがとうございます。VMCA 2022 プロジェクトをお手伝いできることを嬉しく思います。

Veeam大学病院のニーズと要件を満たすソリューションを設計するには、バックアップ インフラストラクチャに追加のプロキシ サーバーを追加することによる影響と利点を考慮する必要があります。これは、バックアップおよび復元操作のパフォーマンスと効率を最適化し、将来の成長と拡張に備えるのに役立ちます。

Web 検索結果によると、プロキシ サーバーはソース ホストからデータを取得し、処理してバックアップ リポジトリに転送するコンポーネントです。また、データ圧縮、重複排除、暗号化なども実行します。バックアップ プロキシは、プライマリ サイトとリモート サイトの両方に展開できます¹。

追加のプロキシ サーバーを追加した直後の結果は A です。バックアップが完了するまでの時間が短縮される可能性があります。

この結果は次のことを意味します。

*バックアップ完了までの時間は、バックアップ ジョブの開始から終了までの実行にかかる時間を測定する指標です。データのサイズと種類、バックアップ方法と頻度、ネットワーク帯域幅と遅延などのさまざまな要因によって異なります。

*追加のプロキシ サーバーを追加すると、利用可能なプロキシ サーバー間でバックアップのワークロードが分散されるため、バックアップの完了にかかる時間を短縮できます。こ

れにより、バックアップのパフォーマンスと効率が向上し、実稼働環境への影響が軽減されます。

*バックアップが完了するまでの時間を短縮すると、バックアップ ウィンドウと目標復旧時点 (RPO) の要件を満たすだけでなく、他のタスクやジョブのためにより多くのリソースを解放することもできます。

最新問題: 50

設計が目標 SLA を満たしていることを検証し、ソリューションの管理に必要な人員を削減するために何ができるでしょうか? (3つ選択してください)

- A. スクリプトを使用して構成をエクスポートし、定期的なレビューをスケジュールして、ステータスと構成のドリフトについて話し合います。
復元操作を文書化してサービス デスクの関与を合理化します。
- B. タグ付けとスクリプトを使用してバックアップ ジョブを自動生成し、開始時刻とウィンドウを設定して、バックアップ サーバーがリソース割り当てを管理できるようにします。
- C. インベントリ情報を使用してジョブをグループ化し、バックアップ チェーンを使用して、バックアップ ウィンドウ内に収まるように微調整します。
- D. 構成の変更を検出し、レポートを作成し、バックアップ ジョブ テンプレートを使用して一貫性を維持する方法を説明します。ドキュメントのセルフサービス復元により、サービス デスクの関与が合理化されます。
- E. 今後ボトルネックが発生しないように設計を見直してください。
- F. インフラストラクチャの最も遅い部分がバックアップ ウィンドウの要件を満たすのに十分な速度になるように設計を見直してください。

Answer: B,D,F (メッセージを残す)

設計が目標 SLA を満たしていることを検証し、ソリューションの管理に必要な人員を削減するために実行できることは次のとおりです。

* タグ付けとスクリプトを使用してバックアップ ジョブを自動生成し、開始時刻とウィンドウを設定して、バックアップ サーバーがリソース割り当てを管理できるようにします。このオプションを使用すると、VM、ホスト、クラスターなどのソース オブジェクトに割り当てられたタグに基づいて、バックアップ ジョブの作成と構成を自動化できます¹。これにより、バックアップ ジョブの管理に伴う手動の労力と人的エラーが軽減され、バックアップ サーバーが負荷分散とパフォーマンスの設定に基づいて各ジョブに最適なりソースを確実に割り当てます²。

* 構成の変更を検出し、レポートを作成し、バックアップ ジョブ テンプレートを使用して一貫性を維持する方法を説明します。ドキュメントのセルフサービス復元により、サービス デスクの関与が合理化されます。このオプションを使用すると、バックアップ インフラストラクチャを監視し、VM、ホスト、クラスターの追加や削除など、バックアップのパフォーマンスや信頼性に影響を与える可能性のある変更を検出できます³。また、バックアップ ジョブ テンプレートを使用して、一貫性のある標準化されたバックアップ ポリシーを作成し、それらを複数のバックアップ ジョブに適用することもできます⁴。さらに、セルフサー

ビスの復元プロセスを文書化できるため、エンドユーザーはバックアップ管理者やサービスデスクの介入なしに、自分のバックアップからファイルレベルの復元を実行できます5。

* インフラストラクチャの最も遅い部分がバックアップウィンドウの要件を満たすのに十分な速度になるように設計を見直します。このオプションを使用すると、バックアップ速度とスループットを制限するコンポーネントであるバックアップインフラストラクチャのボトルネックを特定して最適化できます。設計を見直し、インフラストラクチャの最も遅い部分がバックアップウィンドウの要件を満たせるようにすることで、バックアップSLAを達成し、バックアップパフォーマンスを向上させることができます。

他のオプションは、設計の検証に関連しないか (オプションAとE、構成のエクスポート、レビューのスケジュール設定、ボトルネックの設計のレビューは検証プロセスではなく設計プロセスの一部であるため)、または要件を満たすのに効果的ではありません。SLAと人員削減 (オプションC、インベントリ情報の使用、バックアップチェーン、および微調整は手動で複雑なタスクであり、バックアップウィンドウのコンプライアンスやリソース効率を保証されない可能性があるため)。参考資料: タグ付け、負荷分散とパフォーマンス、構成変更の追跡、バックアップジョブテンプレート、セルフサービスファイルリストア、[ボトルネック統計]

最新問題: 51

データベース管理者とさらに話し合いを行ったところ、トランザクションログのバックアップは、オブジェクトストレージ上に存在するイメージレベルのSQLアプリケーション対応バックアップと並行して存在することを希望していることが判明しました。これはどのようにして実現できるのでしょうか?

- A. SQLネイティブツールを使用して、ログを専用の仮想マシンに送信し、オフロード用のスケールアウトバックアップリポジトリの容量層を使用してイメージレベルのバックアップで保護します。
- B. ログ配布を有効にして仮想マシンのバックアップジョブを使用し、これをスケールアウトバックアップリポジトリに送信し、オフロードにスケールアウトバックアップリポジトリの容量層を使用します。
- C. SQLネイティブツールを使用して、専用の仮想マシンにログを送信し、オフロードのためにクラウドベンダーのオブジェクトストレージCLIを呼び出すタスクをスケジュールします。
- D. 仮想マシンのバックアップジョブを使用して、ログ配布データを専用のリポジトリに送信し、オフロード用のスケールアウトバックアップリポジトリの容量層を使用してイメージレベルのバックアップで保護します。

Answer: ([解答を表示する](#))

* ログ配布を有効にした仮想マシンのバックアップジョブを使用すると、SQL Server データベースのイメージレベルのバックアップを作成したり、トランザクションログを定期的にバックアップしたりすることができます12。

*スケールアウト バックアップ リポジトリは、複数のバックアップ リポジトリを 1 つのストレージ プールにグループ化する論理エンティティであり、バックアップ パフォーマンス、拡張性、および管理の向上を可能にします³。

*スケールアウト バックアップ リポジトリの容量階層は、古いバックアップ ファイルを Amazon S3 や Azure Blob Storage などのパブリック クラウド オブジェクト ストレージにオフロードできる機能です。

他のオプションは、Veeam 機能を使用しない、オブジェクト ストレージにオフロードしない、またはイメージ レベルのバックアップを作成しないため、それほど効果的または効率的ではありません。

参考資料: 1: トランザクション ログ配布 - VMware vSphere ユーザー ガイド 2: SQL Server トランザクション ログをバックアップする方法 - Veeam 3: スケールアウト バックアップ リポジトリ - Veeam バックアップおよびレプリケーション ベスト プラクティス ガイド: 容量層 - VMware vSphere ユーザー ガイド: Veeam でキャパシティ層を使用する方法 - Veeam

最新問題: 52

アーキテクチャのレビュー中に、設計されたアーキテクチャを実装するエンジニアは、Oracle バックアップの要件を完全に満たすためにどのように進めるべきかを尋ねます。これらの要件を満たすために再販はどのように処理されるべきでしょうか？

- A. RMAN プラグインをインストールして構成します。
- B. すべての Oracle バックアップの凍結前および解凍後のスクリプトを作成します。
- C. Veeam Backup Enterprise Manager を実装して構成し、Oracle 管理者のみが Oracle バックアップにアクセスできるように RMAN を構成します。
- D. すべての Oracle サーバーにエージェントをデプロイし、アプリケーション対応の処理が構成されていることを確認します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

*RMAN プラグインは、Veeam Backup & Replication を Oracle バックアップおよびリカバリ用のネイティブ ツールである Oracle RMAN と統合するコンポーネントです¹²。

*RMAN プラグインを使用すると、Oracle RMAN コマンドを使用して、Oracle データベースを Veeam バックアップ リポジトリにバックアップおよび復元したり、ログ配布やポイントインタイム リカバリを実行したりできます¹²。

*RMAN プラグインは、物理サーバーやクラウド環境だけでなく、サポートされているオペレーティング システムやハイパーバイザー上で実行される Oracle データベースもサポートします¹²。

*RMAN プラグインは、圧縮、重複排除、暗号化、スケーラビリティ、信頼性など、Veeam Backup & Replication の機能と利点を活用します¹²。

最新問題: 53

復元機能に関する顧客のセキュリティ要件に基づいて、どのコンポーネントを導入する必要がありますか？

- A. RBAC ポリシーが定義された Veeam Business ビュー
- B. RABC ポリシーが定義された Veeam Backup & Replication コンソール
- C. Veeam Oracle 統合
- D. 詳細な RABC ポリシーが定義された Enterprise Manager

Answer: D (メッセージを残す)

説明

リストア機能に関する顧客のセキュリティ要件に基づいて導入する必要があるコンポーネントは、詳細な RBAC ポリシーが定義された Enterprise Manager です。Enterprise Manager は、複数の Veeam バックアップ サーバーを集中管理できる Web ベースのインターフェイスです。また、ユーザーの権限とデータを復元するためのアクセスを制御できる詳細な RBAC ポリシーも提供します。たとえば、バックアップ管理者、リストア オペレータ、セキュリティ担当者など、責任とニーズに基づいてさまざまなユーザーまたはグループにさまざまな役割を割り当てることができます。また、役割ごとにカスタム スコープとルールを定義して、アクセスを特定のユーザーに制限することもできます。オブジェクト、ジョブ、またはアクション。

最新問題: 54

データベース サーバーに関する要件を調べていると、バックアップと復元にはネイティブの Oracle ユーティリティを使用できる必要があることがわかります。ネイティブ ツールが Veeam と直接接続できることを確認するには、どのオプションが要件に最もよく一致しますか？

- A. ローカリティを専用ディスクにバックアップし、Veeam Agent File Folder バックアップを使用してバックアップを Veeam Backup & Replication リポジトリに送信するように RMAN を設定します。
- B. 仮想マシンのバックアップを開始し、RMAN 形式で Oracle エクスプローラーのエクスポートを開始するスクリプトを作成します。
- C. Veeam NAS バックアップによってバックアップされる NAS 共有にバックアップするように RMAN を設定します。
- D. Veeam RMAN プラグインをインストールすると、ネイティブ RMAN バックアップとリストアで Oracle サーバーから Veeam リポジトリを直接利用できるようになります。

Answer: D (メッセージを残す)

説明

ご質問ありがとうございます。VMCA 2022 プロジェクトをお手伝いできることを嬉しく思います。

Veeam大学病院のデータベース要件を満たすソリューションを設計するには、Oracle データベースをサポートおよび統合できるオプションと機能のいくつかを考慮する必要があります。これは、Oracle のバックアップとリストアの一貫性と信頼性、さらにはネイティブの

Oracle ツールと Veeam 製品および機能の互換性とサポート性を確保するのに役立ちます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、バックアップとリストアにネイティブの Oracle ユーティリティを使用できるという要件に最もよく一致するオプションは D です。Veeam RMAN プラグインをインストールして、ネイティブ RMAN のバックアップとリストアで Veeam リポジトリを利用できるようにします。Oracle サーバーから直接。

このオプションは次のことを意味します。

*Veeam RMAN プラグインは、Oracle Recovery Manager (RMAN) と統合され、Veeam リポジトリをターゲットとして使用して Oracle データベースのバックアップと復元を可能にするソリューションです。

*Veeam RMAN プラグインは、仮想 Oracle サーバーと物理 Oracle サーバーの両方、および Oracle データベースのさまざまなバージョンとエディションをサポートします。

*Veeam RMAN プラグインを使用すると、追加のスクリプトや構成を必要とせずに、RMAN、SQL*Plus、Data Pump などのネイティブの Oracle ツールとコマンドを使用して、Oracle データベースのバックアップとリストアを実行できます。

*Veeam RMAN プラグインは、バックアップの圧縮、重複排除、暗号化、不変性などの Veeam Backup & Replication の利点と機能を活用して、バックアップのパフォーマンスと効率、さらにバックアップのセキュリティと整合性を向上させます。

このオプションは、Veeam 製品と機能を活用しながら、バックアップと復元にネイティブの Oracle ユーティリティを使用できるため、要件に最もよく一致します。

最新問題: 55

要件と、Veeam 大学病院が既存のバックアップストレージを維持するという前提に基づいて、オンプレミス設計に必要なコンポーネントを説明する答えはどれですか？

- A. バックアップサーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ エンタープライズ マネージャー、ログ配布サーバー。
- B. バックアップサーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ Enterprise Manager、マウントサーバー、バックアップ リポジトリ。
- C. バックアップサーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、Veeam vPower NFS サービス。
- D. バックアップサーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、マウントサーバー、ゲスト インタラクション プロキシ、ゲートウェイ サーバー。

Answer: D (メッセージを残す)

説明

Veeam University Hospital のバックアップとレプリケーションの要件を満たすソリューションを設計するには、オンプレミスの設計に必要なコンポーネントのいくつかを考慮する必要があります。これは、バックアップおよびレプリケーション操作のパフォーマンス

と信頼性、およびバックアップ インフラストラクチャの拡張性と管理性を確保するのに役立ちます。

Veeam のバックアップとレプリケーションのベスト プラクティス ガイド1によると、オンプレミスの設計に必要なコンポーネントの一部は次のとおりです。

※バックアップサーバーです。これは、バックアップ、レプリケーション、リカバリ検証、および復元タスクを制御および調整する Veeam Backup & Replication のコア コンポーネントです。また、プロキシ サーバー、リポジトリ サーバー、WAN アクセラレータなどのバックアップ インフラストラクチャ コンポーネントも管理します。ベスト プラクティス ガイド 2 で推奨されているように、各サイトにバックアップ サーバーを用意する必要があります。

*バックアッププロキシ。これは、ソース ホストからデータを取得し、処理してバックアップ リポジトリに転送するコンポーネントです。また、データ圧縮、重複排除、暗号化なども実行されます。ベスト プラクティス ガイド 3 で推奨されているように、各サイトに少なくとも 1 つのバックアップ プロキシが必要です。

*バックアップリポジトリ。これは、Veeam Backup & Replication がバックアップ ファイル、バックアップ コピー、レプリケートされた VM のメタデータを保持するサーバーです。Windows または Linux サーバー、NAS デバイス、重複排除アプライアンスなどを使用できます。ベスト プラクティス ガイド 4 で推奨されているように、各サイトに少なくとも 1 つのバックアップ リポジトリが必要です。

*サーバーをマウントします。これは、リストア操作中にバックアップ リポジトリからバックアップ プロキシにバックアップ ファイルをマウントするコンポーネントです。また、データの圧縮解除、重複排除、復号化なども実行します。ベスト プラクティス ガイド 5 で推奨されているように、リストアを実行する予定の各サイトにマウント サーバーが必要です。

※ゲートウェイサーバー。これは、バックアップ プロキシとバックアップ リポジトリが異なるサイトまたはネットワークにある場合に、それらの間のデータ ムーバーとして機能するコンポーネントです。また、安全なデータ転送のためにデータの暗号化と復号化も実行します。ベスト プラクティス ガイドで推奨されているように、リモート バックアップ プロキシによってアクセスされるバックアップ リポジトリがある各サイトにゲートウェイサーバーが必要です。

したがって、これらのコンポーネントに基づいて、オンプレミス設計に必要なコンポーネントを示す答えは D. バックアップ サーバー、バックアップ プロキシ、バックアップ リポジトリ、マウント サーバー、ゲートウェイ サーバーです。

最新問題: 56

顧客の回復要件に基づいて、定められた目的を達成するのにどのコンポーネントが役立ちますか？

A. Windows サーバーを追加し、バックアップの暗号化を有効にして、代替の復号化機能を確保します。

- B. RBAC ポリシーを使用して Enterprise Manager をデプロイおよび構成します。
- C. Veeam Backup & Replication コンソールを展開し、RBAC ポリシーを管理者ロールに設定します
- D. Windows および Linux サーバーを追加し、バックアップのインデックス作成を有効にし、認証されたユーザーが適切な RBAC ポリシーに設定されていることを確認します。

Answer: B (メッセージを残す)

お客様がロールベースのアクセス制御 (RBAC) および代替復号化機能の定められた目的を達成するのに役立つコンポーネントは、Veeam Backup Enterprise Manager です。Veeam Backup Enterprise Manager は、複数の Veeam バックアップ サーバーを集中管理できる Web ベースのインターフェイスです。また、ユーザーの権限とバックアップ データへのアクセスをきめ細かく制御できる RBAC ポリシーも提供します。たとえば、バックアップ管理者、リストア オペレータ、セキュリティ担当者など、責任とニーズに基づいてさまざまなユーザーまたはグループにさまざまなロールを割り当てることができます。Veeam Backup Enterprise Manager には、権限のあるユーザーが暗号化されたバックアップを復元できるようにするパスワード紛失保護機能も備わっています。パスワードを忘れたり紛失したりしても、パスワードを入力する必要はありません。

最新問題: 57

どの環境パラメータが、可能な SureBackup ジョブ設計に影響しますか? (2つ選択してください)

- A. Veeam 大学病院には、すべての場所に VMware クラスタがあります。セキュリティ上の理由から、各クラスタはそれがサービスを提供する部門専用です。
- B. 仮想マシンは VMware 暗号化データストアに保存されます。
- C. 各サイトはパブリック インターネットへの 10 GbE リンクであり、サイト間のすべてのトラフィックは VPN 経由でこれらの接続を介してルーティングされます。
- D. 現在のバックアップは NFS ストレージに書き込みます。
- E. 各サイトには 20 の vLAN が使用されており、そのうち 16 は VMware ワークロードに使用されます。

Answer: B,E (メッセージを残す)

説明

Veeam 大学病院の SureBackup ジョブ設計要件を満たすソリューションを設計するには、可能な SureBackup ジョブ設計に影響を与える可能性のある環境パラメータのいくつかを考慮する必要があります。

これは、SureBackup 機能の機能性と信頼性を確保するのに役立ち、分離された環境でバックアップの回復可能性を検証できます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、可能な SureBackup ジョブ設計に影響を与える可能性のある環境パラメータの一部は次のとおりです。

*仮想マシンは VMware 暗号化データストアに保存されます。VMware 暗号化データストアではバックアップおよびリストア操作に特別な処理と構成が必要なため、このパラメータ

は可能な SureBackup ジョブの設計に影響を与える可能性があります。バックアップ インフラストラクチャ設定で暗号化サポートを有効にし、暗号化されたデータストアにアクセスするために必要な認証情報と権限を提供する必要があります。また、SureBackup ジョブが実行される仮想ラボが暗号化されたデータストアをサポートしていることを確認する必要があります。これには追加のリソースとライセンスが必要になる場合があります。

*各サイトには 20 の vLAN が使用されており、そのうち 16 は VMware ワークロードに使用されます。vLAN はバックアップおよびリストア操作にネットワーク マッピングとルーティングを必要とするため、このパラメータは可能な SureBackup ジョブの設計に影響を与える可能性があります。SureBackup ジョブが実行される仮想ラボ、および SureBackup ジョブに含まれるアプリケーション グループとバックアップ ジョブのネットワーク設定とルールを構成する必要があります。また、ネットワークの分離と接続が維持され、SureBackup ジョブによって検証される仮想マシンに対してテストされていることを確認する必要があります。

最新問題: 58

データベース サーバーに関する要件を調べていると、バックアップと復元にはネイティブの Oracle ユーティリティを使用できる必要があることがわかります。ネイティブ ツールが Veeam と直接接続できることを確認するには、どのオプションが要件に最もよく一致しますか？

- A. ローカリティを専用ディスクにバックアップし、Veeam Agent File Folder バックアップを使用してバックアップを Veeam Backup & Replication リポジトリに送信するように RMAN を設定します。
- B. 仮想マシンのバックアップを開始し、RMAN 形式で Oracle エクスプローラーのエクスポートを開始するスクリプトを作成します。
- C. Veeam NAS バックアップによってバックアップされる NAS 共有にバックアップするように RMAN を設定します。
- D. Veeam RMAN プラグインをインストールすると、ネイティブ RMAN バックアップとリストアで Oracle サーバーから Veeam リポジトリを直接利用できるようになります。

Answer: ([解答を表示する](#))

ご質問ありがとうございます。VMCA 2022 プロジェクトをお手伝いできることを嬉しく思います。

Veeam 大学病院のデータベース要件を満たすソリューションを設計するには、Oracle データベースをサポートおよび統合できるオプションと機能のいくつかを考慮する必要があります。これは、Oracle のバックアップとリストアの一貫性と信頼性、さらにはネイティブの Oracle ツールと Veeam 製品および機能の互換性とサポート性を確保するのに役立ちます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、バックアップとリストアにネイティブの Oracle ユーティリティを使用できるという要件に最もよく一致するオプションは D です。Veeam RMAN プラグインをインストールして、ネイティブ RMAN のバック

アップとリストアで Veeam リポジトリを利用できるようにします。Oracle サーバーから直接。

このオプションは次のことを意味します。

*Veeam RMAN プラグインは、Oracle Recovery Manager (RMAN) と統合され、Veeam リポジトリをターゲットとして使用して Oracle データベースのバックアップと復元を可能にするソリューションです。

*Veeam RMAN プラグインは、仮想 Oracle サーバーと物理 Oracle サーバーの両方、および Oracle データベースのさまざまなバージョンとエディションをサポートします。

*Veeam RMAN プラグインを使用すると、追加のスクリプトや構成を必要とせず、RMAN、SQL*Plus、Data Pump などのネイティブの Oracle ツールとコマンドを使用して、Oracle データベースのバックアップとリストアを実行できます。

*Veeam RMAN プラグインは、バックアップの圧縮、重複排除、暗号化、不変性などの Veeam Backup & Replication の利点と機能を活用して、バックアップのパフォーマンスと効率、さらにバックアップのセキュリティと整合性を向上させます。

このオプションは、Veeam 製品と機能を活用しながら、バックアップと復元にネイティブの Oracle ユーティリティを使用できるため、要件に最もよく一致します。

最新問題: 59

ゴールド層のバックアップをテストするための要件を満たすことができない原因となる可能性があるのは次のうちどれですか？

- A. バックアップ ジョブは 1 時間ごとに実行されます。
- B. SureBackup ジョブ構成では、vLAN 間のトラフィックをファイアウォールできません。
- C. LAN 帯域幅が vPower NFS データストアには十分ではありません。
- D. ネットワークが多すぎる可能性があります。

Answer: ([解答を表示する](#))

ゴールド層バックアップをテストするための要件を満たせない原因として、SureBackup ジョブ構成で vLAN 間のトラフィックをファイアウォールできないことが考えられます。これにより、ゴールド層の仮想マシンが相互に通信したり、分離された仮想ラボ内の他の必要なサービスと通信したりできなくなる可能性があります。たとえば、ゴールド層の仮想マシンが別の vLAN 内のデータベース サーバーまたはドメイン コントローラーにアクセスする必要がある場合、SureBackup ジョブで起動に失敗したり、正しく機能しない可能性があります。したがって、必要なすべての vLAN とネットワーク設定が SureBackup ジョブで正しく構成されていることを確認することが重要です。

最新問題: 60

Veeam Financial Services は、データを復元する前にバックアップにマルウェアが含まれていないことを確認することに懸念を表明しています。どうすればこれを達成できますか？

- A. 段階的復元のために、互換性のあるウイルス対策ソリューションが仮想ラボで利用できることを確認します。

- B. 安全な復元のために仮想ラボから Veeam Data Integration API にアクセスできることを確認します。
- C. 段階的リストアのためにマウント サーバーで Veeam Data Integration API にアクセスできることを確認します。
- D. 安全な復元のために、互換性のあるウイルス対策ソリューションがマウント サーバーで利用できることを確認します。

Answer: ([解答を表示する](#))

データを復元する前にバックアップにマルウェアが含まれていないことを保証するという目標を達成するための最良の方法は、安全な復元のために互換性のあるウイルス対策ソリューションがマウント サーバーで利用できるようにすることです。セキュア リストアは Veeam Backup & Replication の機能で、組み込みまたはサードパーティのウイルス対策ソリューション 1 を使用して、リストア操作を実行する前にバックアップ ファイルでマルウェアがないかスキャンできます。マウント サーバーは、バックアップ ファイルをバックアップ サーバーまたはバックアップ プロキシ 2 にマウントする Veeam Backup & Replication のコンポーネントです。マウント サーバーに互換性のあるウイルス対策ソリューションを導入することで、安全な復元機能を利用してバックアップ データにマルウェアがないか確認し、実稼働環境への感染の拡大を防ぐことができます。他のオプションは、実行不可能であるか (段階的リストアと Veeam Data Integration API はマルウェア検出用に設計されていないため、オプション A および B 34)、十分ではありません (オプション C、Veeam Data Integration API だけではマルウェアのバックアップ ファイルをスキャンできないため)。参考資料: セキュア リストア、マウント サーバー、段階的リストア、Veeam データ統合 API。

最新問題: 61

お客様の Windows および Linux ファイル サーバーのバックアップ要件に基づいて、どのコンポーネントが規定の目的を達成するのに役立ちますか？

- A. Veeam Backup & Replication コンソールを展開し、RBAC ポリシーを管理者ロールに設定します。
- B. Windows および Linux サーバーを追加し、バックアップのインデックス作成を有効にし、認証されたユーザーが適切な RBAC ポリシーに設定されていることを確認します。
- C. Windows サーバーを追加し、バックアップのインデックス作成を有効にし、認証されたユーザーが適切な AD グループ ポリシーに設定されていることを確認します。
- D. 仮想マシンでインデックス作成を有効にして Backup Enterprise Manager を使用し、RBAC ポリシーを使用してエージェント バックアップを使用します。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

お客様の Windows および Linux ファイル サーバーのバックアップ要件に基づいて、指定された目的を達成するのに最適なコンポーネントは、仮想マシンでインデックス作成が有

効になっている Backup Enterprise Manager と、RBAC ポリシーを備えたエージェントバックアップです。その訳は：

*Backup Enterprise Manager を使用すると、単一の Web ベース インターフェイスから複数のバックアップサーバーにわたるバックアップジョブを管理および監視できます1。

*インデックス作成により、お客様は Windows および Linux サーバーのバックアップからファイルレベルのリカバリを実行できるだけでなく、すべてのバックアップ全体でファイルを検索できるようになります2。

*RBAC ポリシーを使用すると、お客様は、役割と復元範囲に基づいて、ファイルレベルの回復を実行するためのアクセス許可をさまざまなユーザーやグループに委任できます3。

参考資料: 1: Veeam Backup Enterprise Manager ガイド 2: Veeam Backup & Replication ユーザー ガイド 3:

Veeam Backup Enterprise Manager ガイド > アカウントとロールの構成

有効な **VMCA2022** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい VMCA2022 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **VMCA2022** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com VMCA2022 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com VMCA2022 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Veeam/VMCA2022-mondaishu.html> (**11030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 62

お客様は、合成操作とバックアップ コピー ジョブを希望の時間内に完了する必要があると述べています。これを確実に成功させるには、どのコンポーネントのサイズを正しく設定する必要がありますか？

- A. プロキシ サーバーとリポジトリ サーバー。
- B. リポジトリ サーバーとゲートウェイ サーバー。
- C. プロキシ サーバーとゲートウェイ サーバー。
- D. Veeam Backup & Replication およびゲートウェイ サーバー。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

Veeam バックアップおよびレプリケーションのベスト プラクティス ガイド1によると、プロキシ サーバーとリポジトリ サーバーは、合成操作とバックアップ コピー ジョブを目的の時間内で確実に完了できるように、適切なサイズに設定する必要があるコンポーネントです。その訳は：

*プロキシ サーバーは、ソースからデータを取得してターゲットに送信する役割を果たします。プロキシ サーバーのパフォーマンスは、利用可能な CPU、メモリ、ネットワーク、ストレージ リソースによって異なります。プロキシ サーバーには、同時タスクを処理するの

に十分な CPU コアとメモリ、およびデータを効率的に転送するのに十分なネットワーク帯域幅とストレージスループットが必要です。

*リポジトリ サーバーは、バックアップ ファイルをターゲット ストレージに保存する役割を果たします。リポジトリ サーバーのパフォーマンスは、利用可能な CPU、メモリ、ネットワーク、ストレージ リソースによって異なります。リポジトリ サーバーには、同時タスクを処理するのに十分な CPU コアとメモリ、およびデータを効率的に書き込むのに十分なネットワーク帯域幅とストレージスループットが必要です。リポジトリ サーバーは、バックアップ コピー ジョブ用に選択されたバックアップ形式と保持ポリシーもサポートしている必要があります。

参考資料: 1: バックアップ コピー ジョブ - Veeam バックアップ & レプリケーション ベスト プラクティス ガイド

最新問題: 63

導入中、Veeam大学病院の経営陣はバックアップ時間を8時間に短縮するように求めました。この変更によりどのような影響が生じる可能性がありますか？

- A. Veeam Backup & Replication データベースのサイズが増加します。
- B. プロキシの CPU とメモリの要件が増加します。
- C. リポジトリに必要なストレージの量が増加します。
- D. マウント サーバーの CPU とメモリの要件が増加します。

Answer: B (メッセージを残す)

説明

Veeam のバックアップおよびレプリケーションのベスト プラクティス ガイド1によると、バックアップ ウィンドウを 8 時間に短縮することで考えられる影響の 1 つは、プロキシの CPU とメモリの要件が増加することです。その訳は：

*プロキシは、ソースからデータを取得してターゲットに送信する責任があります。データ圧縮、重複排除、暗号化、および CPU とメモリ リソースを消費するその他のタスクを実行します。

*バックアップ ウィンドウを短縮するには、プロキシはより多くのデータをより短い時間で処理する必要があります。つまり、同時タスクを処理してボトルネックを回避するために、より多くの CPU コアとメモリが必要になります。

*バックアップ ウィンドウは、ネットワーク帯域幅、ストレージのスループット、バックアップ方法、バックアップ設定などの他の要因にも影響される可能性があります。したがって、バックアップ ソリューションを設計する際には、これらすべての側面を考慮することが重要です。

参考資料: 1: プロキシ - Veeam バックアップおよびレプリケーションのベスト プラクティス ガイド

最新問題: 64

バックアップ ソリューションのサイジングに必要な追加情報と、さらなる検出中に収集する必要がある情報は何か？(2つ選択してください)

- A. サイトあたりの利用可能な帯域幅
- B. 保護する仮想マシンの数
- C. 運用ストレージでプロビジョニングされたスペースの合計量
- D. リポジトリストレージファイルシステム
- E. レプリケーション スケジュール

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

バックアップ ソリューションのサイジングに必要で、さらなる検出中に収集する必要がある追加情報は、保護する仮想マシンの量と、運用ストレージにプロビジョニングされたスペースの合計量です。これらのメトリックは、バックアップ ストレージ要件、バックアップ プロキシとトランスポートのリソース、バックアップ ジョブの構成を計算するために使用されます。他のオプションは、バックアップ ソリューションのサイジング (リポジトリ ストレージ ファイル システム、レプリケーション スケジュール) に関連しないか、シナリオですでに提供されているか (サイトあたりの利用可能な帯域幅) のいずれかです。参考資料: Veeam Certified Architect 2022 試験ガイド、10 ページ。Veeam Backup & Replication v11: アーキテクチャと設計コース、モジュール 3。

最新問題: 65

要件のリストを検討すると、バックアップを暗号化する必要があることがわかります。Veeam のネイティブ暗号化を使用する場合、どのリポジトリ タイプが最も影響を受けますか？

- A. 重複排除リポジトリ
- B. XFS reflink クローン作成を使用した不変 Linux リポジトリ
- C. NFS 共有リポジトリ
- D. ブロック クローン作成を使用した Windows ReFS

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

Veeam のネイティブ暗号化を使用することによって最も影響を受けるリポジトリ タイプは、重複排除リポジトリです。

重複排除リポジトリは、重複排除アプライアンスまたはソフトウェアを使用してバックアップ サイズを削減し、ストレージ使用率を最適化するバックアップ リポジトリです。ただし、重複排除リポジトリをターゲットとするバックアップ ジョブに Veeam のネイティブ暗号化を使用すると、暗号化されたデータ ブロックは効果的に重複排除できないため、重複排除の利点のほとんどが失われます。したがって、重複排除デバイスまたはソフトウェアの暗号化機能を使用するか、重複排除リポジトリの暗号化を完全に回避することをお勧めします。

最新問題: 66

ゴールド層のバックアップをテストするための要件を満たすことができない原因となる可能性があるのは次のうちどれですか？

- A. バックアップ ジョブは 1 時間ごとに実行されます。

- B. SureBackup ジョブ構成では、vLAN 間のトラフィックをファイアウォールできません。
- C. LAN 帯域幅が vPower NFS データストアには十分ではありません。
- D. ネットワークが多すぎる可能性があります。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

ゴールド層バックアップをテストするための要件を満たせない原因として、SureBackup ジョブ構成で vLAN 間のトラフィックをファイアウォールできないことが考えられます。これにより、ゴールド層の仮想マシンが相互に通信したり、分離された仮想ラボ内の他の必要なサービスと通信したりできなくなる可能性があります。たとえば、ゴールド層の仮想マシンが別の vLAN 内のデータベース サーバーまたはドメイン コントローラーにアクセスする必要がある場合、SureBackup ジョブで起動に失敗したり、正しく機能しない可能性があります。したがって、必要なすべての vLAN とネットワーク設定が SureBackup ジョブで正しく構成されていることを確認することが重要です。

最新問題: 67

災害復旧ソリューションの設計に必要で、検出時に特定する必要がある情報は何か？
(3つ選択してください)

- A. レプリケートされる仮想マシンの数。
- B. ロケーション間の利用可能な帯域幅。
- C. オフサイトに保管するために必要なバックアップの量。
- D. サイトごとの vLAN の数。
- E. どのサイトがレプリケーションのソースとなり、どのサイトがリカバリのターゲットになります。

Answer: A,B,E ([メッセージを残す](#))

Veeam 大学病院のニーズと要件を満たす災害復旧ソリューションを設計するには、検出フェーズでいくつかの情報を特定する必要があります。この情報は、レプリケーションとフェイルオーバーのプロセスの範囲と規模、ネットワークとストレージのリソースと制限、目標復旧時間と目標復旧ポイントを理解するのに役立ちます。

Veeam Backup & Replication Best Practice Guide によると、災害復旧ソリューションの設計に必要で、検出時に特定する必要がある情報の一部は次のとおりです。

*レプリケートされる仮想マシンの数。この情報は、仮想マシンの数と種類に基づいて、レプリケーション ジョブの数とサイズ、レプリケーションのパフォーマンスとスケーラビリティを判断するのに役立ちます。

*拠点間の利用可能な帯域幅。この情報は、レプリケーション トラフィックに利用可能なネットワーク帯域幅とスループット、およびネットワーク パフォーマンスと遅延に対するレプリケーション アクティビティの影響を見積もるのに役立ちます。

*どのサイトがレプリケーションのソースとなり、どのサイトがリカバリのターゲットになります。この情報は、ソースとターゲットの場所に基づいて、プロキシ サーバー、リポジト

リ サーバー、WAN アクセラレータ、フェイルオーバー プランなどのレプリケーション インフラストラクチャを計画および構成するのに役立ちます。

トピック 2、Veeam の生命と補償

エグゼクティブサマリー：

Veeam Life and Indemnity は、カリフォルニア州フレズノとニューヨーク州カーソンシティのデータ センターにある追加の仮想マシン、物理サーバー、NAS ワークロードを保護するために、既存の Veeam バックアップ インフラストラクチャを拡張しています。

Veeam ソフトウェアの最初のインストールと構成は 2 年前に行われました。導入以来、組織が成長したため、既存および新規のワークロードに対応するために Veeam インフラストラクチャのサイズを変更する必要があります。

過去 3 か月間、Veeam Life and Indemnity は、割り当てられたバックアップ時間内にバックアップが完了しないことに問題があることに気づきました。バックアップ ジョブのうち正常に完了するのは 40% のみであるため、バックアップを 2 つのセットに分割し、交互に実行しています。また、開発環境のバックアップもすべて停止しました。

さらに、元の構成では毎日のバックアップ コピー ジョブが必要でしたが、バックアップの完了に問題があったため、日曜日にのみ実行するように変更されました。

また、ストレージのパフォーマンスの低下にも気づいており、データの増加に対応するために四半期ごとに新しいストレージを購入する必要があります。

ソリューションコンセプト：

Veeam Life and Indemnity は、Veeam Backup & Replication を最新バージョンにアップグレードしています。また、すべてのレガシー物理ハードウェアとストレージを現行世代の機器に置き換えています。Veeam Life and Indemnity は、本番環境および開発テストのワークロードを含むすべてのバックアップを毎晩実行でき、すべてのバックアップが必要なバックアップ ウィンドウ内に完了することを保証したいと考えています。さらに、Veeam Life と Indemnity は、バックアップされたすべてのデータのコピーが両方の物理サイトに確実に存在するように、コピー ジョブを毎日実行したいと考えています。

Veeam Life and Indemnity も、ランサムウェアの脅威について懸念を表明しています。彼らはいかなる種類のデータ侵害も経験していませんが、データ侵害が発生した場合に回復できるようにしたいと考えています。

既存の技術環境：

Veeam Life and Indemnity は、すべての場所に VMware クラスタを備えています。これらのクラスタは 2 つのカテゴリに分類されます。

一般的な仮想ワークロードと、MSSQL や Oracle などのアプリケーション固有のワークロードです。

すべての顧客データは政府規制の対象となるため、常に安全に保管する必要があります。Veeam Life and Indemnity には独自の CRM システムがあり、バックアップ前に停止する必要があります。

すべての電子メールは Office 365 でホストされます。

すべてのデータベース サーバーは仮想化されています。

すべての仮想マシンはゴールド、シルバー、ブロンズのいずれかに分類され、階層に基づいて異なるサービス レベル アグリーメントが適用されます。

現在、すべてのバックアップは実行中および保存中に暗号化されています。

両方のサイトのインターネット接続は現在 1 Gbps ですが、間もなく 2 Gbps に増加する予定です。

すべてのフィールド営業担当者には、CRM クライアントを実行する会社のラップトップが割り当てられます。

各拠点の LAN は最大 40 Gbps の帯域幅をサポートします。

現在、すべてのバックアップはスケールアウト バックアップ リポジトリに書き込まれ、各エクステンションは CIFS 共有上に存在します。

各部門には独自の vLAN があり、運用トラフィック用に合計 30 の vLAN があります。

単一の管理 vLAN がサイト間に拡張されます。

すべての非構造化データは、会社の既存の NAS デバイス上の 10 個の NFS 共有、またはファイル共有として Windows ファイル サーバーに存在します。

VMware は VM データストアに vSAN を使用します。

すべての vLAN は通信するためにファイアウォールを通過する必要があり、バックアップネットワーク自体はルーティングできません。

クラスター間のすべてのネットワーク トラフィックはファイアウォールを通過する必要があります。

ファイアウォール デバイスは最大 20 Gbps をサポートできます。

ビジネス要件：

人的資源が限られているため、すべてのバックアップは動的にスコープを設定する必要があります。

バックアップのパフォーマンスの問題を回避するには、すべてのバックアップを現在のバックアップ ウィンドウの外側でサイト全体にコピーする必要があります。

顧客データの機密性のため、Tier 1 ヘルプデスク担当者はこれらのバックアップにアクセスできないようにする必要があります。

顧客以外のデータを復元するためのアクセス権が必要です。

バックアップ管理者は厳格な身元調査の対象となり、顧客の機密データの復元を実行できる唯一のスタッフである必要があります。

法的問題については、バックアップ データからの迅速かつタイムリーな検出がサポートされる必要があります。

セキュリティ上の理由から、データ侵害を防ぐためにすべてのストレージを強化する必要があります。

リモートの営業スタッフは、自分のデバイスのバックアップを開始できる必要があります。

規制要件により、一貫したバックアップが成功し、セキュリティ ポリシーが遵守されていることを確認するために、監査を定期的に行う必要があります。

技術的要件：

すべてのバックアップは、現地時間の午後 5 時から午前 8 時までの時間内に完了する必要があります。バックアップ コピー ジョブは、バックアップ期間外でも毎日正常に完了する必要があります。

ゴールド レベルの仮想マシンの目標復旧時点はイメージ バックアップで 1 時間、トラクション ログ バックアップで 15 分で、復旧時間の目標は 4 時間です。

シルバー レベルの仮想マシンの目標復旧時点は 24 時間、目標復旧時間は 8 時間です。

ブロンズ ティアの仮想マシンには 7 日間の目標復旧時点があり、定義された復旧時間の目標はありません。

NAS デバイスとファイル サーバーには 4 時間という目標復旧時点があり、目標復旧時間は指定されていません。

規制要件に備えて、毎週 8 回、毎月 3 回、および年間 7 回のバックアップを保持する必要があります。

すべてのデータは、送信中も保存中も暗号化する必要があります。

パスワードを紛失した場合に、暗号化されたバックアップの代替復号化機能が可能でなければなりません。

バックアップ データへの不正アクセスを防ぐには、役割ベースのアクセス制御を使用する必要があります。

新しいストレージは侵入を防ぐために強化する必要があり、可能であればランサムウェア攻撃を防ぐために書き込まれるデータは変更不可能でなければなりません。

マルウェアの復元操作を行う前に、すべてのバックアップをスキャンする必要があります。

すべてのゴールド レベルのシステムでは、特定の法的規制を確実に遵守するために、復元前にカスタム スクリプトを実行する必要があります。

ゴールド層のバックアップは、回復可能性を検証するためにテストする必要があります。販売分野に属するラップトップを除き、バックアップ中にシルバー層システムのみにインデックスを作成する必要があります。

ラップトップ上のすべての個人ファイルはバックアップから除外する必要があります

すべての MSSQL サーバーのバックアップでは、H: ドライブを除外する必要があります。

Valid VMCA2022 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing VMCA2022 Exam! GoShiken.com now offer the **newest VMCA2022 exam dumps**, the GoShiken.com VMCA2022 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com VMCA2022 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Veeam/VMCA2022-mondaishu.html> (110 Q&As Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)